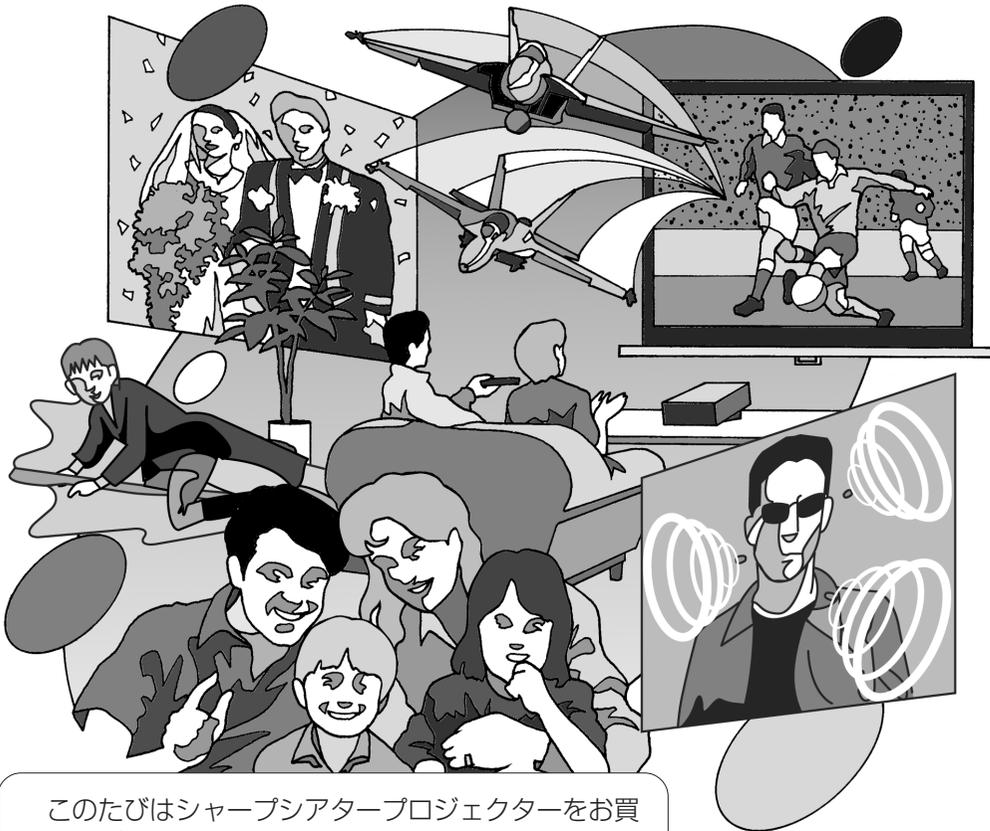


SHARP®

シアタープロジェクター

形名 エクスバイ ゼット **XV-Z11000**

取扱説明書

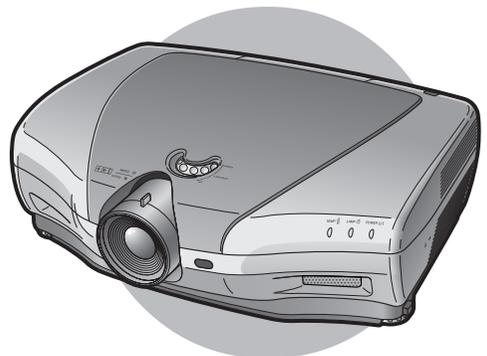


このたびはシャープシアタープロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……3ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保管してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。



はじめに

接続と設置のしかた

基本操作

便利な機能を使う

付録

もくじ

はじめに

	ページ
もくじ	2
安全に正しくお使いいただくために	3
使用上のご注意	7
簡単に試してみる	9
各部のなまえ	10
本体	10
本体(後面)	11
リモコン(前面)	12
リモコン(上側)	12
リモコンの使いかた	13
リモコンの使用範囲	13
乾電池の入れかた	13
付属品を確認する	14

接続と設置のしかた

接続のしかた	16
接続する前に	16
電源コードの接続	16
ビデオ機器を接続する	17
コンピュータを接続する	22
プロジェクターをコンピュータで制御する	25
リモコンを接続して使う	26
設置のしかた	27
アジャスターの使いかた	27
レンズ調整	28
投映画面位置を上下に移動する	29
スクリーンを設置する	30
画面サイズと投映距離	31
反転映像を投映するとき	32

基本操作

投映のしかた	34
電源を入れてから切るまで	34
キーストーン補正と垂直サイズ調整	37
メニュー表示内容一覧	40
メニューの使いかた	42
メニューの選択(調整)	42
メニューの選択(設定)	44
映像を調整する	46
映像ポジションを選ぶ	46
見やすい映像に調整する	47
ガンマポジションを選択する	47
C.M.S.ポジションを選ぶ	48
特殊項目を設定する	48
IPモードを設定する	49
コントラストを強調する	50
ノイズを軽減する(DNR)	50
映像の輪郭線を強調する(DFC)	51
設定した内容をリセットする	51
ガンマを調整する	52
ガンマポジションを選択する	52
ガンマを調整する	53
カラーマネージメント機能(C.M.S.)	54
C.M.S.ポジションを選ぶ	54
対象の色を選ぶ	54

対象色の明るさを設定する	55
対象色の彩度を設定する	55
対象色の色相を設定する	55
ユーザー設定で調整や設定した色の設定をリセットする	56
ユーザー設定で設定した6色それぞれの設定値を確認する	56
コンピュータの画面を調整する	57
自動同期調整がOFFのとき	57
画面調整の内容を登録する	57
登録した調整内容を読み出す	58
特殊モードを設定する	58
入力信号情報を表示する	59
自動同期調整	59
自動同期調整時の画面表示機能	60

便利な機能を使う

画像表示モードを選ぶ	62
高輝度モード/高コントラストモード切替機能	65
デジタルシフト機能	66
字幕調整をする	66
LED(お知らせ表示)消灯機能	67
ランプの使用時間を確認する	67
画面表示を設定する	68
入力信号の種類を設定する	69
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する	70
無信号時に表示する画面を設定する	70
省電力モードを設定する	71
パワーセーブ機能	71
RS-232Cポートオフ機能	71
無信号時自動電源オフ機能	72
RS-232Cの通信速度を設定する	72
映像の左右反転/上下反転のしかた	73
調整内容を一覧表示する	74

付録

SharpVision Manager (付属品)の取扱説明書の見かた	76
お手入れのしかた	77
通風孔の掃除	78
お知らせ表示について	79
ランプについて	80
ランプについて	80
ランプ使用上のご注意	80
ランプを交換する	80
ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け	81
ランプ使用時間(タイマー)をリセットする	82
本体のコネクタのピン配置	83
(RS-232C)仕様とコマンドの設定	84
ワイヤードリモコン入力端子の仕様	87
RGB入力信号(推奨信号)について	88
故障かな?と思ったら	89
アフターサービスについて	91
お客様ご相談窓口のご案内	92
仕様	93
寸法図	94
用語集	96
索引	97

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



- 画面が映らないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 警告

表示された電源電圧で使用する



- 表示された電源電圧(交流100~240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

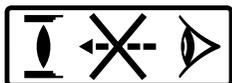


- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



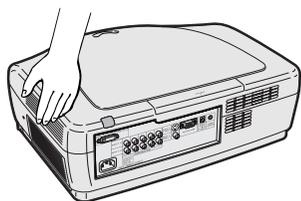
- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、ランプ交換ユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 感電の原因となります。

警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない

風呂、シャワー室では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



- 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

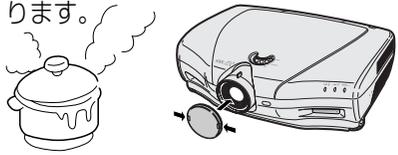
重いものを置かない



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



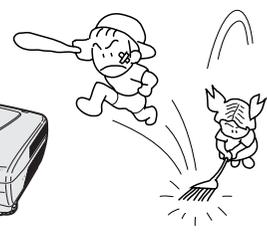
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- この機器の上に重いものを置かないでください。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部(排気側)は、壁などから30cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠️ 注意

<p>移動させるときは必ず接続線をはずす</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>電源コードを熱器具に近づけない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>旅行などで長時間で使用にならないときは電源プラグを抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	<p>お手入れのときは電源プラグを抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</p>   <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。 ● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆりみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 	<p>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。
<p>指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 	<p>電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

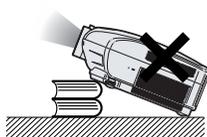
- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

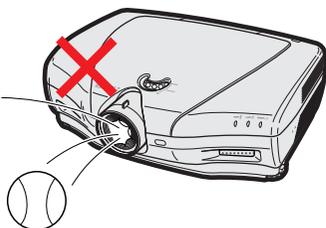
プロジェクターは5°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲は±5°までです。



衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください。表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5℃～35℃
- 保存温度範囲 -20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、保護回路が働き自動的に待機状態になります。これは故障ではありません。プロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがらない位置でもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

使用上のご注意(つづき)



温度

温度モニター機能

■ 設置状況や通風孔の目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニター表示(ランプ)が点滅し、90秒間冷却した後、待機状態になります。詳細については79ページの「お知らせ表示について」をご覧ください。

お知らせ

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

ランプ交換に関する注意

■ 「ランプについて」(80ページ)もご覧ください。

廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関する注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

知的財産権

重要

製品を使用する前にお読みください。

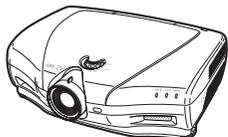
- DLP™ (Digital Light Processing)、DMD™ (Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Adobe Acrobatはアドビシステムズ社の商標です。
- Macintoshはアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- 本製品のICチップの中には、米国Texas Instruments社の営業秘密が含まれているICチップがありますので、その内容をコピー、改変、適応、翻訳、配布、リバースエンジニアリング、リバースアッセンブリリングもしくはディスアッセンブリリングをすることは禁じられております。

簡単に試してみる

接続から投映するまでの流れを、お手持ちのビデオ機器との接続を例に簡単に説明します。
くわしくは()内の各ページをご覧ください。

用意するもの

プロジェクター

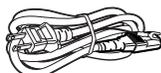


リモコン

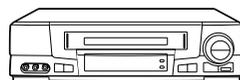
・電池を入れてお使いください。
(13 ページ)



電源コード



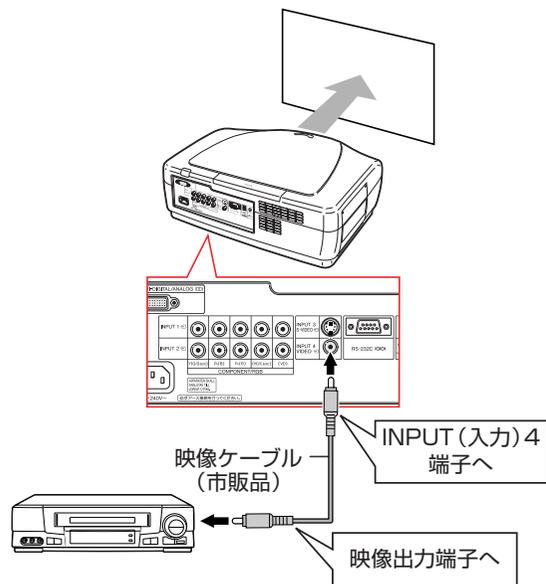
ビデオ機器



映像ケーブル(市販品)

① 投映したいスクリーンにレンズを向けてプロジェクターを置く

② ビデオ機器を接続する(17ページ)



③ ビデオ機器の音声出力端子をオーディオ機器と接続する

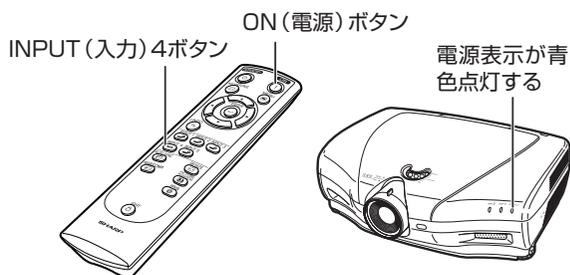
④ プロジェクターに電源コードを接続し、コンセントに差し込む(16、34ページ)

⑤ レンズキャップを外す(10ページ)

アースコードは必ず取り付ける



⑥ リモコンの を押し電源を入れる(34ページ)

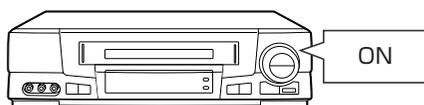


⑦ リモコンの を押し「入力4」にする(35ページ)

▼画面表示

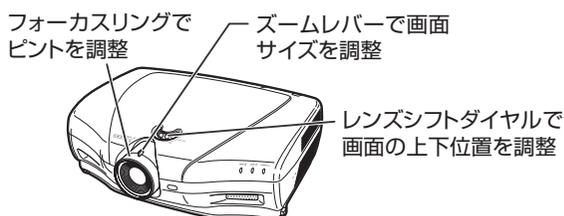


⑧ ビデオ機器の電源を入れる



⑨ ビデオを再生する

⑩ 画面サイズや画面位置、ピントを調整する(28、29ページ)



メモ

・ビデオ機器以外に、コンピュータと接続することもできます。(22 ページ)

各部のなまえ

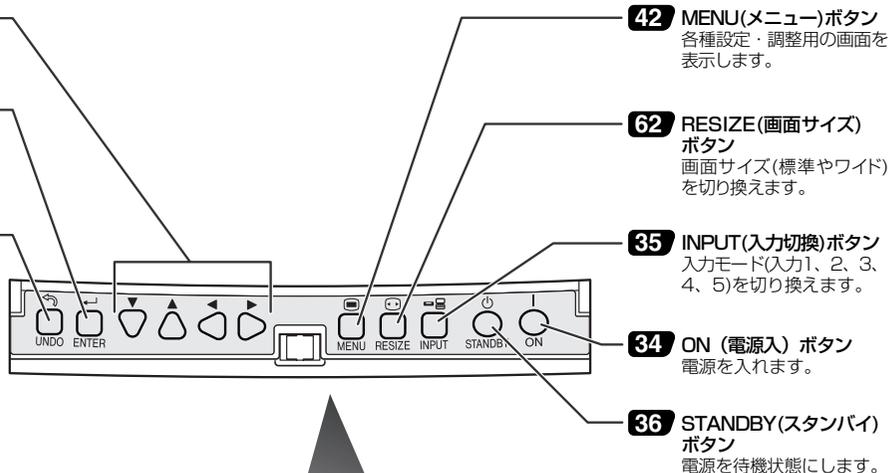
■の中の数字は、参照ページを示します。

本体

カーソルボタン(▼▲◀▶) **43**
メニュー項目の選択に使用します。

ENTER(決定)ボタン **43**
メニューで選択調整した項目を決定します。

UNDO(戻す)ボタン **43**
1つ前の操作の状態に戻したり、初期設定に戻します。



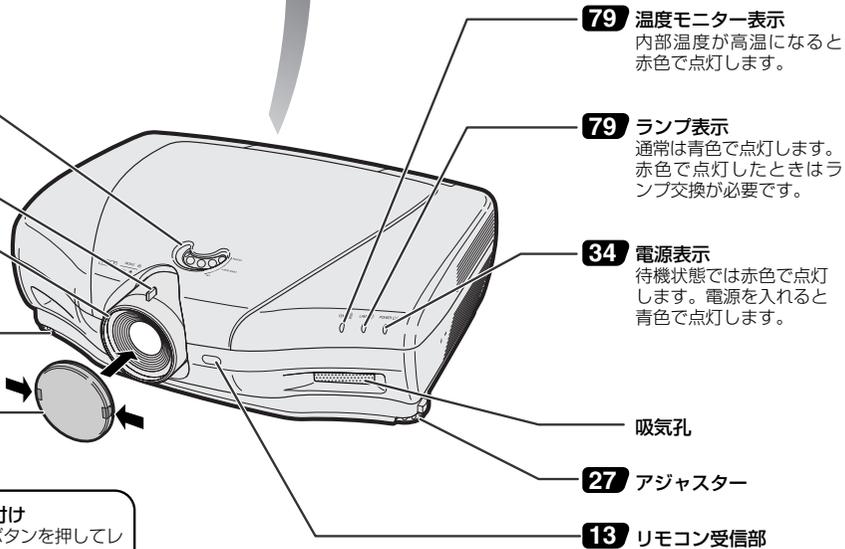
レンズシフトダイヤル **29**
投映位置を上下に移動します。

ズームレバー **28**

フォーカスリング **28**

アジャスター **27**

レンズキャップ



レンズキャップの取り付け
レンズキャップの2つのボタンを押してレンズに当てます。ボタンを離して取り付けます。

レンズキャップの取り外し
レンズキャップの2つのボタンを押して、レンズから外します。

画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。

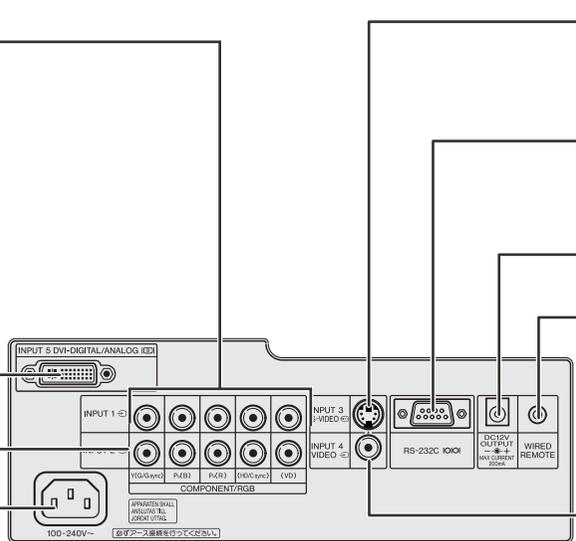
本体（後面）

18 INPUT (入力) 1端子
コンポーネント(色差)
／アナログRGB信号
用の端子です。

19 INPUT (入力) 5端子
DVIデジタル／コンピ
ュータRGB／コンポ
ーネント(色差)の入
力用端子です。

18 INPUT (入力) 2端子
コンポーネント(色差)
／アナログRGB信号
用の端子です。

16 AC電源ソケット
付属の電源コードを
接続します。



17 INPUT (入力) 3端子
S端子付きビデオ機
器などと接続する
ときに使用します。

25 RS-232C端子
コンピュータを使っ
てプロジェクターを
制御します。

DC 12V OUTPUT
(出力) 端子

26 ワイヤード
リモコン入力端子
リモコン信号が届か
ない場所で使用する
場合に、リモコンのワ
イヤードリモコン端
子と接続します。

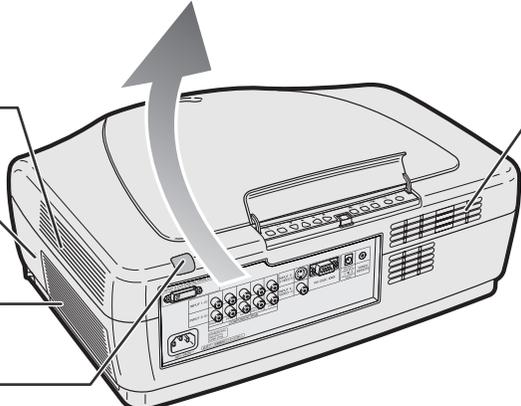
17 INPUT (入力) 4端子
ビデオ機器などと接
続するときに使用し
ます。

吸気孔 **78**

盗難防止用コネクター
(Kensington
Security
Standard
connector)

排気孔 **78**

リモコン受信部 **13**



盗難防止用コネクターについて

市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを接続することができます。



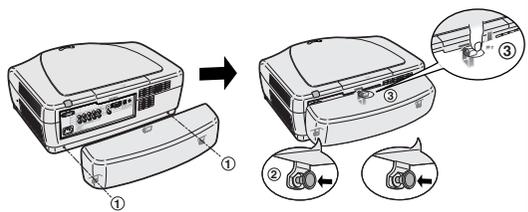
- 盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。

端子部カバーの使用

プロジェクターを卓上や高い位置に設置したり、天井に取り付けたりする場合は、付属の端子部カバーを取り付け、接続ケーブルを覆い隠すことができます。

端子部カバーの取り付けかた

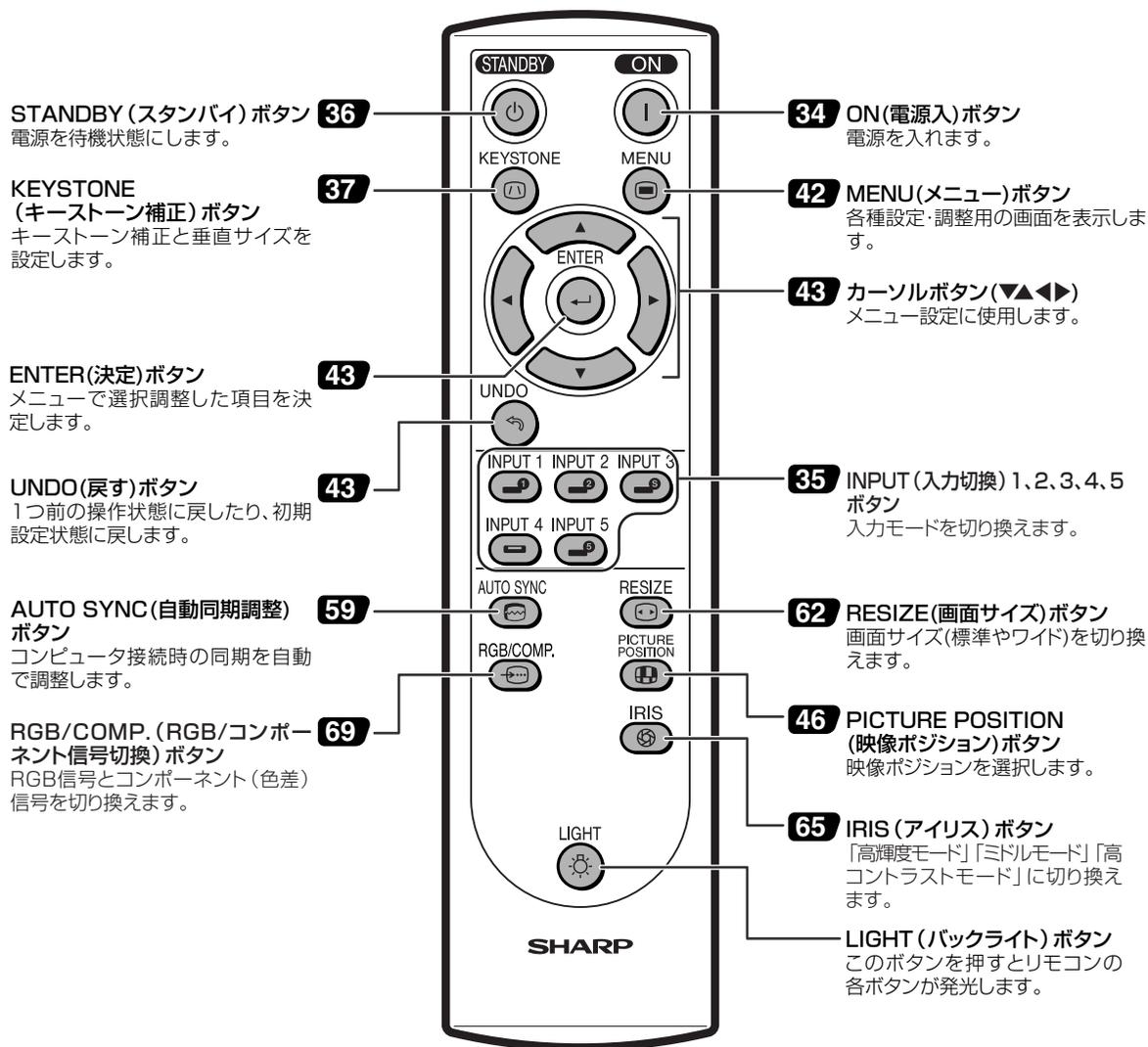
- ①端子部カバーのフックと本体後方のフック差し込み穴を合わせます。
- ②矢印の方向にフックを押して、端子部カバーを本体に固定します。
- ③端子部カバー内側のツメあたりを指で外側から押しながら本体の取り付け溝に差し込みます。



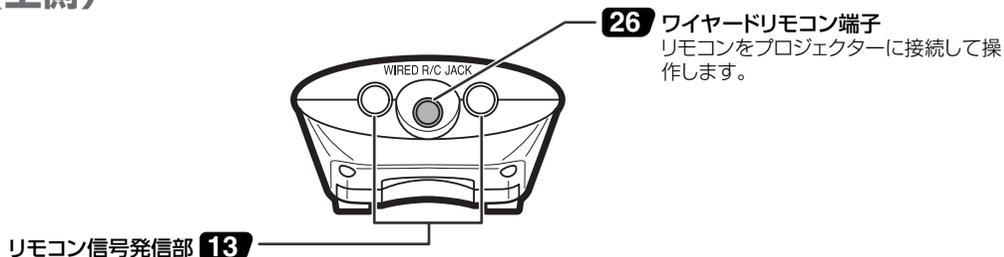
ゴムキャップを外してからフックを差し込んでください

各部のなまえ (つづき)

リモコン (前面)



リモコン (上側)



リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

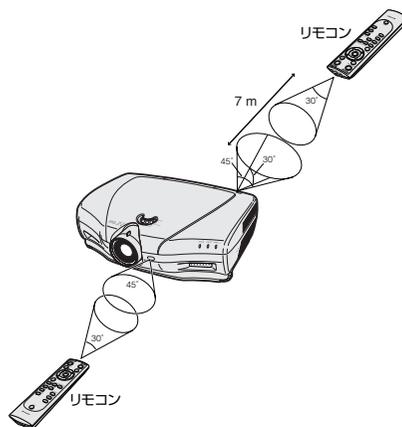
■リモコンの使用範囲は図のとおりです。

メモ

- ・リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

- ・衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- ・蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。



乾電池の入れかた

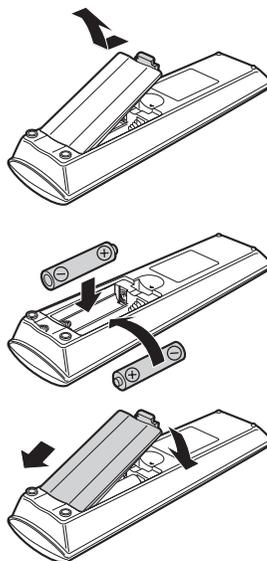
乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。
〔単3形2本〕

1 カバーのつまみを押して、矢印の方向に開ける

2 付属の乾電池を入れる

- ・プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。

3 カバー下側の出っ張りをはめ込み、パチンとはまるまで下げる



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

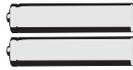
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

付属品を確認する

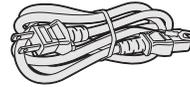
付属品



リモコン



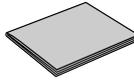
単3形乾電池(2本)



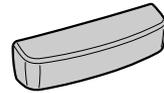
電源コード(3.0m)



レンズキャップ
(装着出荷)



CD-ROM
(SharpVision Manager)



端子部カバー

取扱説明書(本書)
SharpVision Manager取扱説明書

別売品のご案内

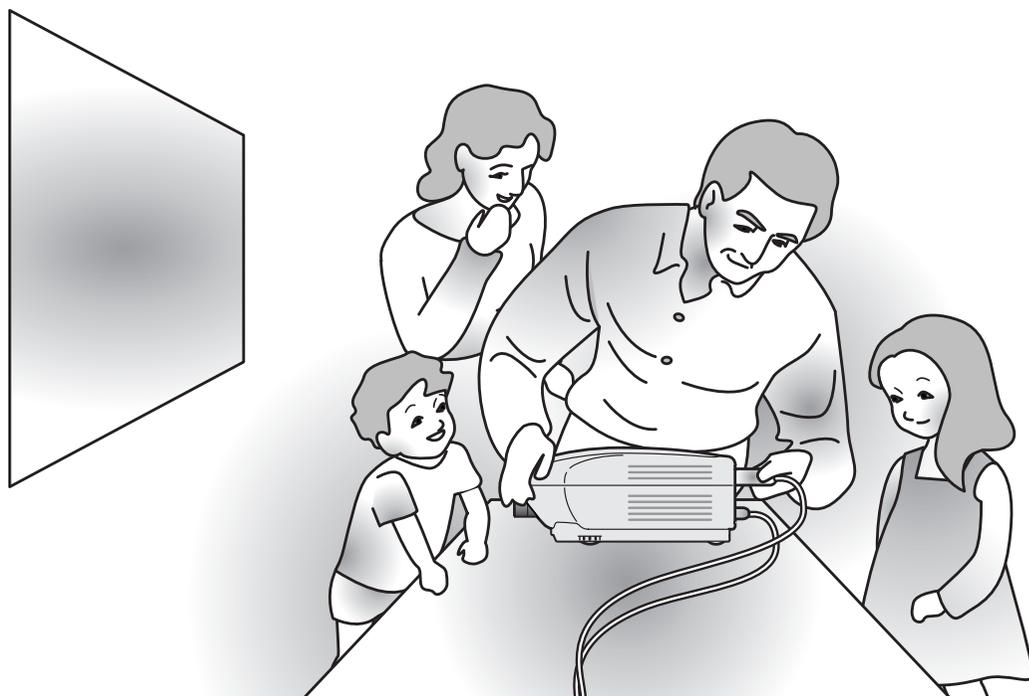
3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル(3m) AN-C3CP

DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター(20cm) AN-A1DV

DVIデジタルケーブル(3m) AN-C3DV

- コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクタ(市販品)が必要な場合があります。

接続と設置のしかた



接続のしかた

接続する前に



- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。
コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

ビデオ機器との接続

- ビデオやDVDプレーヤーなどと接続します。
くわしくは17ページをご覧ください。
- DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポジット(色差)出力端子付機器と接続します。
くわしくは18ページをご覧ください。

コンピュータとの接続

- DVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使って接続します。
くわしくは22ページをご覧ください。
- DVI デジタルケーブルを使って接続します。
くわしくは23ページをご覧ください。
- RS-232C ケーブルクロス・メス・メスタイプ(市販品)を使って接続します。
くわしくは25ページをご覧ください。

電源コードの接続

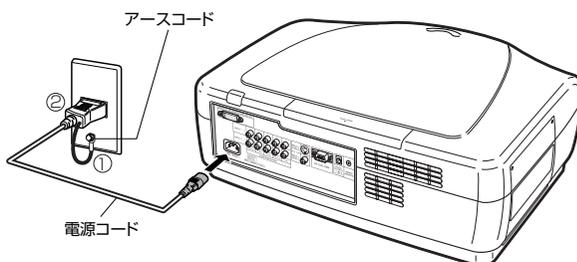
1 プロジェクターの後面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品



電源コード (3.0m)



ビデオ機器を接続する

ビデオ機器を市販のS映像ケーブルや映像ケーブルを使って接続する (INPUT3または4)

ビデオやDVDプレーヤーなどを、市販のS映像ケーブルや映像ケーブルを使ってINPUT (入力) 3端子、INPUT (入力) 4端子に接続します。

1 市販のS映像ケーブルまたは映像ケーブルをプロジェクターに接続する

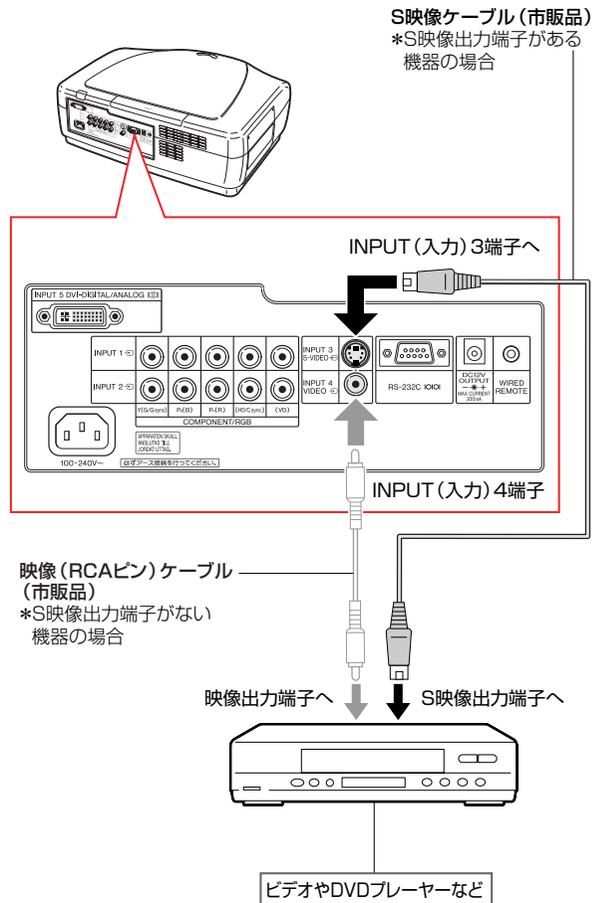
- S映像ケーブルの場合 : INPUT (入力) 3端子に接続します。
- 映像ケーブルの場合 : INPUT (入力) 4端子に接続します。

2 プロジェクターに接続したケーブルをビデオ機器に接続する

- S映像ケーブルの場合 : S映像出力端子に接続します。
- 映像ケーブルの場合 : 映像出力端子に接続します。

メモ

- INPUT (入力) 3のS映像入力端子に採用されているビデオ信号は、色信号と輝度信号に分かれています。S映像出力端子付ビデオ機器を接続するときは、より高品位な画像再生のため、プロジェクターのS映像入力端子とビデオ機器のS映像出力端子を市販のS映像ケーブルで接続してお使いください。



接続のしかた(つづき)

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器を市販のコンポーネントケーブルを使って接続する(INPUT 1または2)

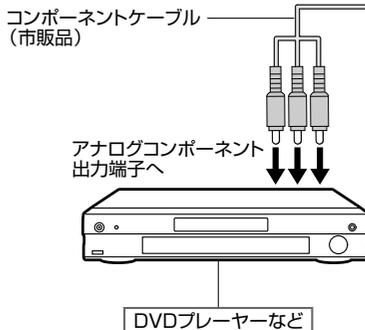
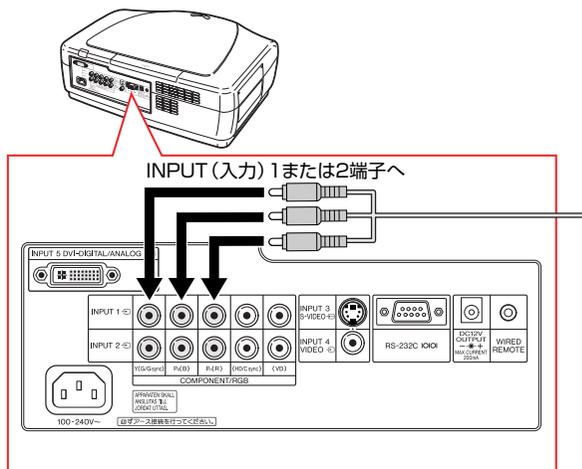
DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器を市販のコンポーネントケーブルを使ってINPUT(入力) 1または2端子に接続します。

1 市販のコンポーネントケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定するか、リモコンの **RGBCOMP.** を押してコンポーネント(色差)モードを選択してください。(69ページ)
- 525Pの信号を入力したときは、「特殊モード」の解像度を「525P」に設定してください。(58ページ)



DVDプレーヤーなどのコンポーネント端子には、Y、Cb、Crと表記されている場合があります。このときの各端子は次のように接続してください。

プロジェクター	Y(G/Gsync)	Pb(B)	Pr(R)
DVDプレーヤーなど	↓ Y	↓ Cb	↓ Cr

RGB出力端子付きビデオ機器を市販の5RCA RGBケーブルを使って接続する (INPUT1または2)

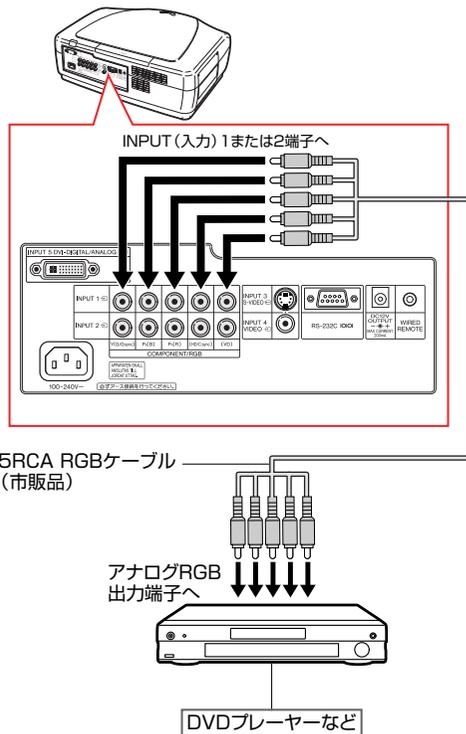
DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなど、RGB出力端子のある機器を市販の5RCA RGBケーブルを使ってINPUT (入力) 1または2端子に接続します。

1 市販の5RCA RGBケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定するか、リモコンの  を押してRGB入力モードを選択してください。(69ページ)
- プロジェクターに接続するRGB出力端子付き機器の仕様によっては (HD/C) や (VD) 端子を使用する場合があります。くわしくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。



RGB出力端子付きビデオ機器を別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターと市販のRGBケーブルを使って接続する (INPUT5)

1 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターをプロジェクターに接続する

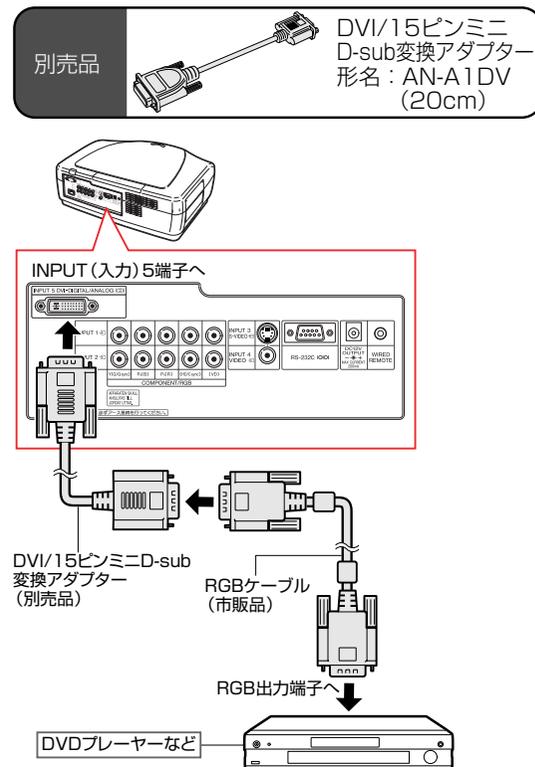
2 その変換アダプターに市販のRGBケーブルを接続する

3 RGBケーブルをビデオ機器に接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

メモ

- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「A. RGB」に設定するか、リモコンの  を押してA. RGB入力モードを選択してください。(69ページ)



接続のしかた(つづき)

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器を別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルとDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使って接続する(INPUT5)

DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポーネント(色差)出力端子のある機器を、別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルとDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターを使ってINPUT(入力)5端子に接続します。

1 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターをプロジェクターに接続する

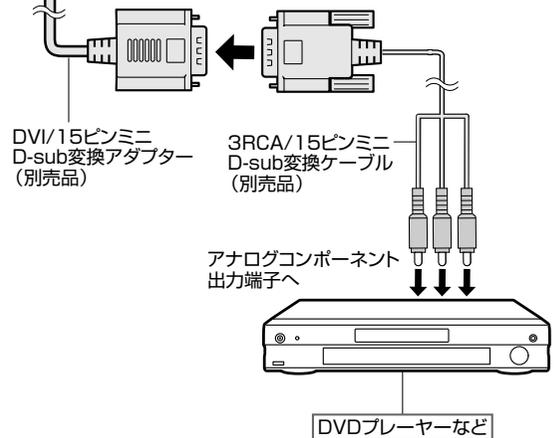
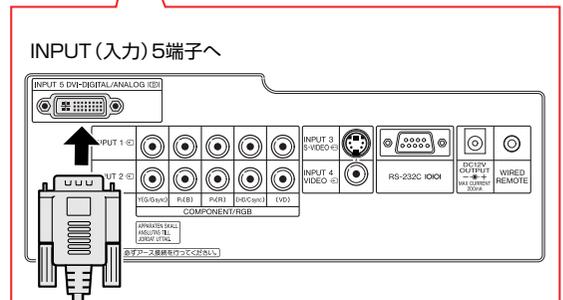
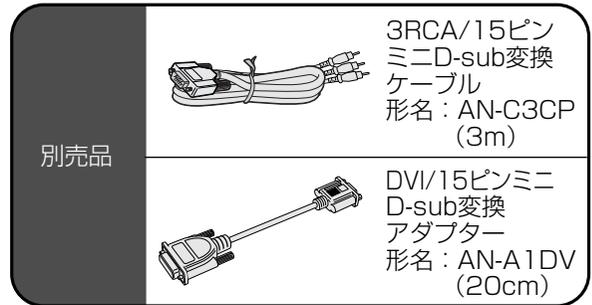
2 その変換アダプターに別売の3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを接続する

• ネジをしめて確実に接続してください。

3 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

• ビデオ機器に合わせて、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。くわしくは69ページをご覧ください。



HDMI出力端子付きビデオ機器を市販のDVI/HDMIケーブルを使って接続する (INPUT5)

HDMI出力端子のある機器を市販のDVI/HDMIケーブルを使ってINPUT (入力) 5端子に接続します。

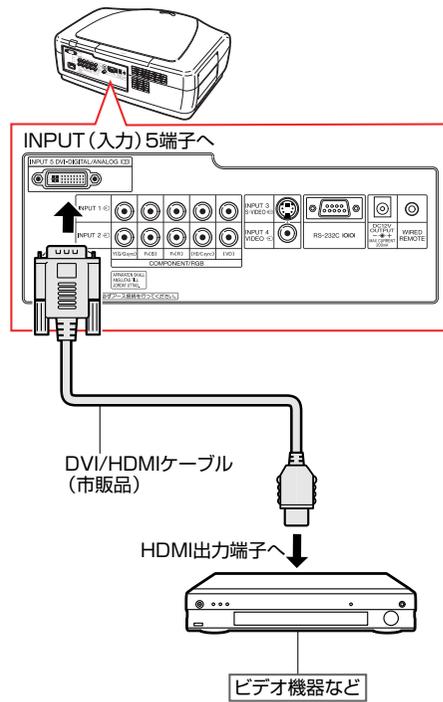
1 市販のDVI/HDMIケーブルをプロジェクターに接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

2 プロジェクターに接続したケーブルをビデオ機器に接続する

メモ

- ビデオ機器に合わせて、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。くわしくは69ページをご覧ください。
- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。



DVI出力端子付きビデオ機器を別売のDVIデジタルケーブルを使って接続する (INPUT5)

DVI出力端子のある機器を別売のDVIデジタルケーブルを使ってINPUT (入力) 5端子に接続します。

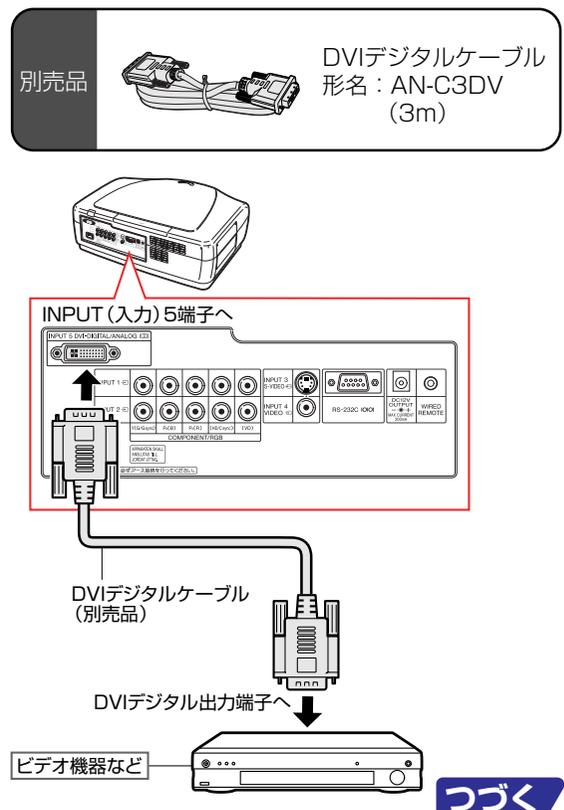
1 別売のDVIケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したケーブルをビデオ機器に接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

メモ

- ビデオ機器に合わせて、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を設定してください。くわしくは69ページをご覧ください。
- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。



コンピュータを接続する

コンピュータを別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターと市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

1 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターをプロジェクターに接続する

2 その変換アダプターに市販のコンピュータ(RGB)ケーブルを接続する

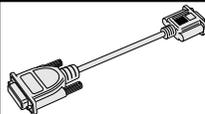
3 コンピュータ(RGB)ケーブルをコンピュータに接続する

• ネジをしめて確実に接続してください。

メモ

- 対応しているコンピュータの表示モードについては、88ページ「RGB入力信号(推奨信号)について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- この方法で接続したときは、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を「A.RGB」に設定するか、**RGB/COMP.** を押してA.RGBモードを選択してください。(69ページ)
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(92ページ)へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

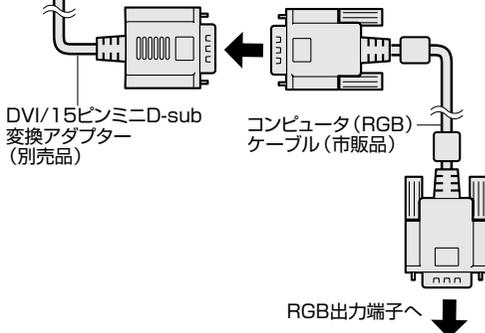
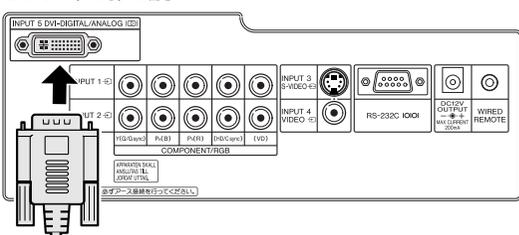
別売品



DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター
形名：AN-A1DV
(20cm)



INPUT (入力) 5端子へ



DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター
(別売品)

コンピュータ(RGB)ケーブル
(市販品)

RGB出力端子へ



コンピュータ

コンピュータを別売のDVIデジタルケーブルを使って接続する

1 別売のDVIデジタルケーブルをプロジェクターに接続する

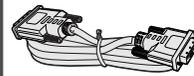
2 プロジェクターに接続したケーブルをコンピュータに接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

メモ

- この方法で接続したときは、コンピュータからの入力信号タイプに合わせて、「オプション」メニューの「入力信号タイプ」を設定するか、リモコンの  を押して、入力信号タイプを切り換えてください。(69ページ)
- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続するコンピュータの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよびコンピュータの電源を入れます。
- コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。

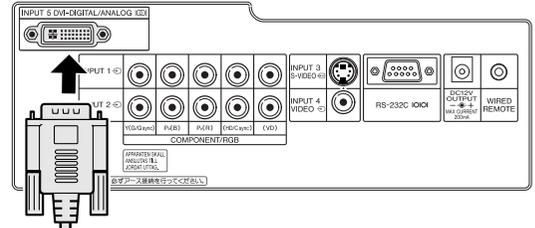
別売品



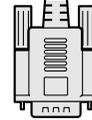
DVIデジタルケーブル
形名：AN-C3DV
(3m)



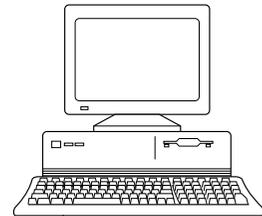
INPUT (入力) 5端子へ



DVIデジタルケーブル
(別売品)



DVIデジタル出力端子へ

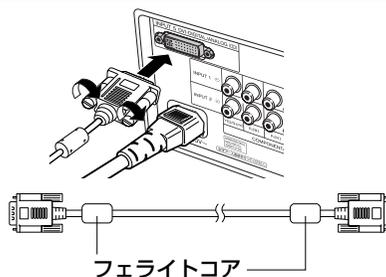


コンピュータ

接続のしかた(つづき)

固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

- 固定ネジ付ケーブルが端子の形状に合っていることを確かめて差し込みます。両端のネジでしっかりと固定してください。
- コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



「プラグ&プレイ」機能

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

- 本機のDDC プラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

プロジェクターをコンピュータで制御する

コンピュータをRS-232Cケーブルを使って接続する

RS-232Cケーブル クロス・メス・メスタイプ(市販品)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作したり、プロジェクターの状態をチェックすることができます。くわしくは84ページをご覧ください。

1 市販のRS-232Cケーブルをプロジェクターに接続する

2 プロジェクターに接続したケーブルをコンピュータに接続する

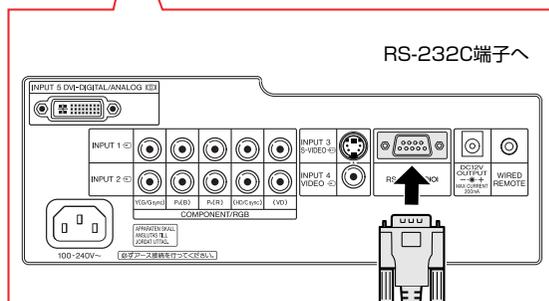
- ネジをしめて確実に接続してください。

メモ

- RS-232Cの機能は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。くわしくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

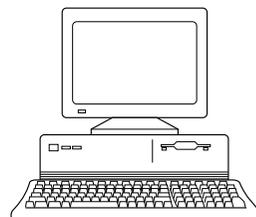
お知らせ

- コンピュータ側のシリアル(RS-232C)ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。



RS-232Cケーブル
(市販品)

RS-232C端子へ



コンピュータ

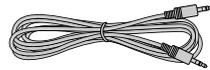
リモコンを接続して使う

リモコンをプロジェクターに接続する

プロジェクターの距離や設置方法(背後から投射するなど)により、リモコンの信号が届かない場合は、別売のリモコンケーブル「AN-RC30W (30m)」または、φ3.5ステレオミニジャックケーブル「QCNWGA038WJPZ」を使ってリモコン上面にあるワイヤードリモコン端子と、プロジェクターの後面にあるワイヤードリモコン入力端子を接続してご使用ください。

リモコンケーブル

形名: AN-RC30W (30m)



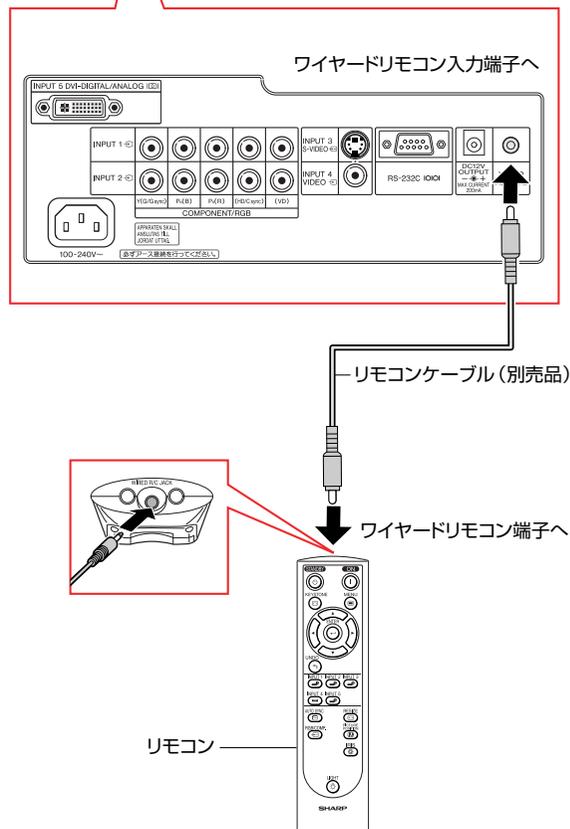
別売品

φ3.5ステレオミニジャックケーブル



部品コード: QCNWGA038WJPZ (3m)

流通コード: 006 512 1158



設置のしかた

アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。

1 アジャスターリリースボタンを押して、プロジェクターをお好みの角度に傾ける

2 希望の高さになったところで、アジャスターリリースボタンから指を離す

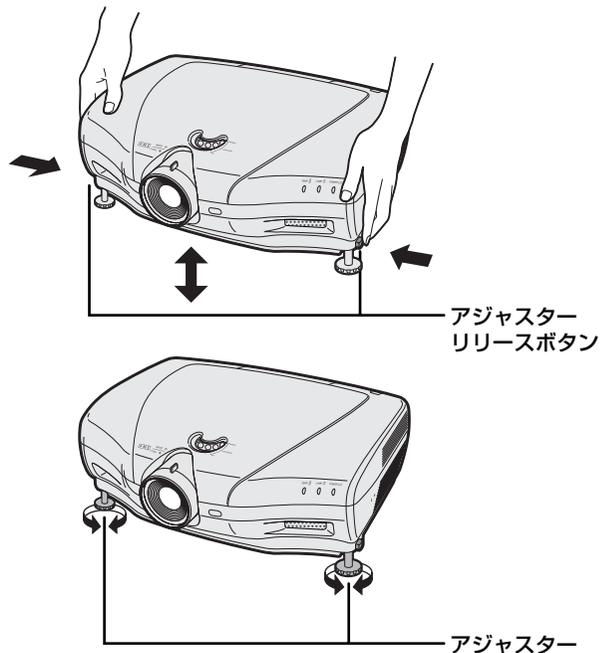
- スクリーンが斜めになっているとき、アジャスターを使って映像を調整することができます。

メモ

- プロジェクターは標準位置から約5°まで角度調整できます。
- プロジェクターの高さを調整するとき、プロジェクターとスクリーンとの位置関係が変化することで、映像が台形に歪む場合があります。台形補正について、くわしくは**37**ページをご覧ください。

お知らせ

- プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

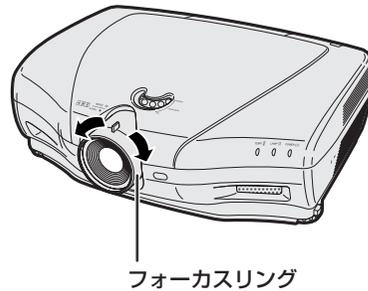
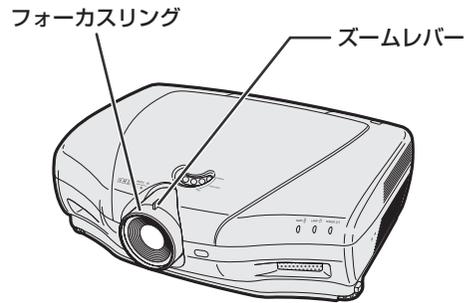


設置のしかた(つづき)

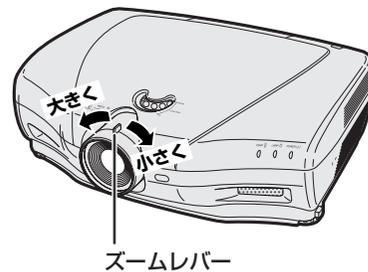
レンズ調整

フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。

1 フォーカス(ピント)は、フォーカスリングをまわして調整する



2 ズームは、ズームレバーを動かして操作する

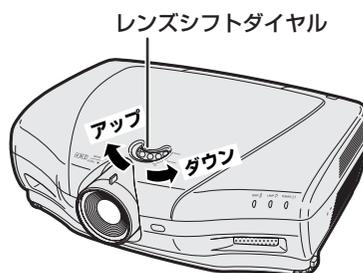


投映画面位置を上下に移動する

レンズシフトダイヤルを回すことにより、投映画面位置を上下に移動することができます。

お知らせ

- 上限位置と下限位置の範囲外にレンズシフトダイヤルを無理に回さないでください。プロジェクターの故障の原因になることがあります。



設置のしかた(つづき)

スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

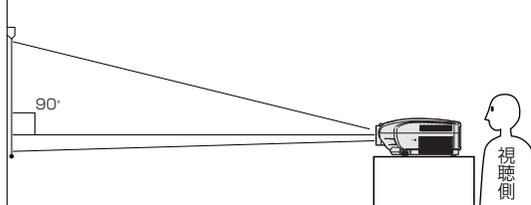
- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

基本的な設置(前面からの投射)

- 投射したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(31ページ)

基本設置例

横から見たとき



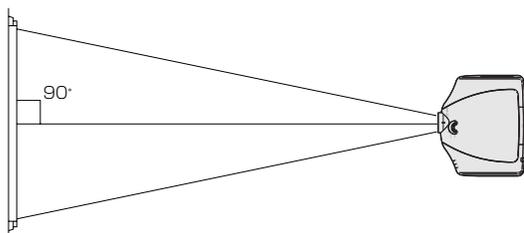
- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

31ページ

- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投射できます。投射した画面の上下左右が反転している場合は、「投射方式」のサブメニューで、「フロント」に設定し直してください。

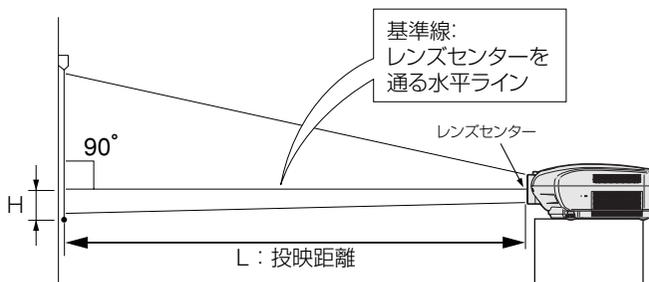
73ページ

上から見たとき



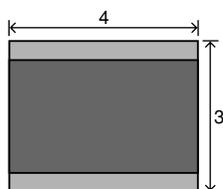
- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

画面サイズと投映距離



4 : 3標準スクリーン 使用時

16 : 9ワイド映像を横幅
いっぱい4 : 3標準スク
リーンに投映した場合



■ : スクリーン
■ : 映像

スクリーンサイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H) (cm)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1 : 最長 (m)	L2 : 最短 (m)	H1 : 下限	H2 : 上限
250	約5.1	約3.8	12.6	9.3	286	0
200	約4.1	約3.0	10.1	7.4	229	0
150	約3.0	約2.8	7.5	5.6	171	0
120	約2.4	約1.8	6.0	4.4	137	0
110	約2.2	約1.7	5.5	4.1	126	0
100	約2.0	約1.5	5.0	3.7	114	0
80	約1.6	約1.2	4.0	2.9	91	0
60	約1.2	約0.9	3.0	2.2	69	0

スクリーンサイズと投映距離の近似式

$$L1 = 0.05058x - 0.04216(m)$$

$$L2 = 0.03734x - 0.0401(m)$$

$$H1(\text{レンズシフト下限時}) = 1.143x(\text{cm})$$

$$H2(\text{レンズシフト上限時}) = 0(\text{cm})$$

x : スクリーンサイズ(対角)(型)

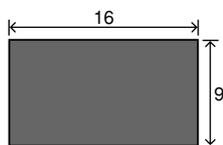
L1 : 最長投映距離(m)

L2 : 最短投映距離(m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)(cm)

16 : 9ワイドスクリーン 使用時

16 : 9ワイド映像を
16 : 9ワイドスクリーン
に投映した場合



■ : 映像

スクリーン (映像) サイズ			投映距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H) (cm)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1 : 最長 (m)	L2 : 最短 (m)	H1 : 下限	H2 : 上限
300	約6.6	約3.7	16.5	12.2	374	0
250	約5.1	約2.9	13.7	10.1	311	0
200	約4.4	約2.5	11.0	8.1	249	0
150	約3.3	約1.9	8.2	6.1	187	0
120	約2.7	約1.5	6.6	4.8	149	0
110	約2.4	約1.4	6.0	4.4	137	0
100	約2.2	約1.2	5.5	4.0	125	0
80	約1.8	約1.0	4.4	3.2	100	0
60	約1.3	約0.7	3.3	2.4	75	0
40	約0.9	約0.4	2.2	1.6	50	0

スクリーン (映像) サイズと投映距離の近似式

$$L1 = 0.05510x - 0.04593(m)$$

$$L2 = 0.04068x - 0.04369(m)$$

$$H1(\text{レンズシフト下限時}) = 1.2456x(\text{cm})$$

$$H2(\text{レンズシフト上限時}) = 0(\text{cm})$$

x : スクリーン(映像)サイズ(対角)(型) L1 : 最長投映距離(m)

L2 : 最短投映距離(m)

H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)(cm)



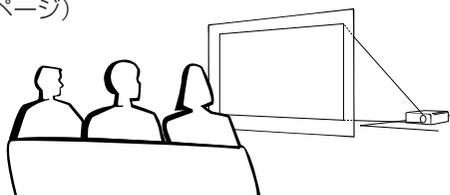
・上記の近似式には±3%の誤差があります。

設置のしかた(つづき)

反転映像を投映するとき

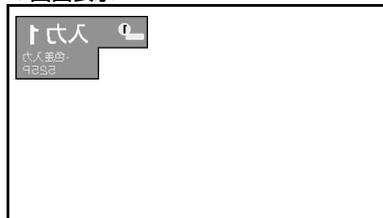
スクリーン背後からの投映

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(73ページ)



工場出荷時の設定で投映すると…

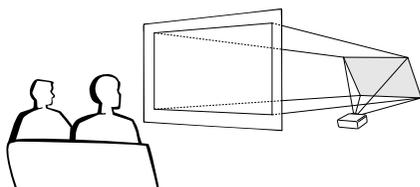
▼画面表示



映像の左右を反転します

ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。

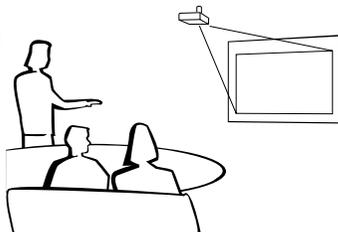


📖 お知らせ

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

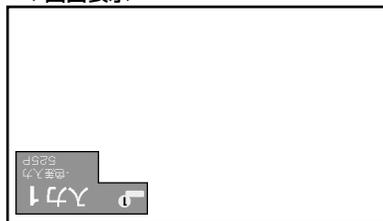
天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニット「AN-TK201」「AN-TK202」および取り付けアダプタ「AN-NV6T」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
- プロジェクターを天井に設置するときは、31ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。
- メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(73ページ)



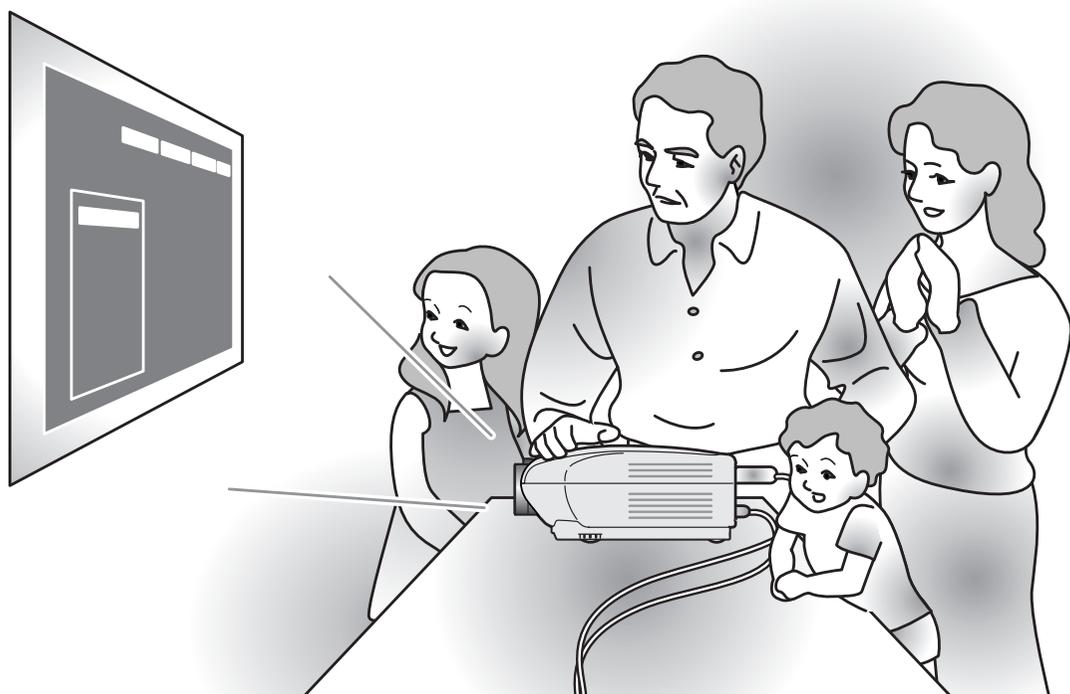
工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の上下を反転します

基本操作



投映のしかた

電源を入れてから切るまで

- 操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。

1 アースコードを取り付ける

2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

3 リモコンの または本体の を押す

- 電源表示が青色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が青色点灯します。ランプ表示が青色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。

メモ

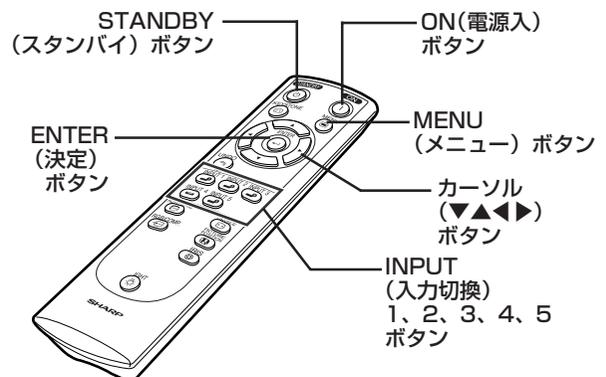
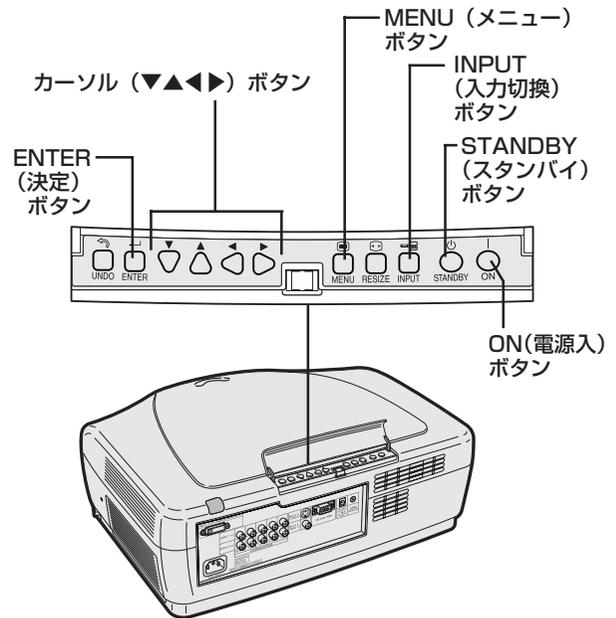
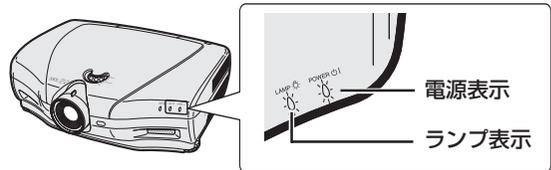
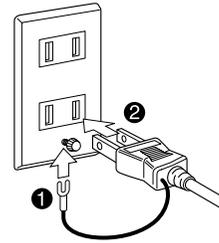
- ランプ表示はランプの状態をお知らせします。

青色点灯: ランプ点灯中

青色点滅: ランプ起動中

赤色点灯: ランプ交換

- プロジェクターを待機状態にした直後に、再び電源を入れると、ランプ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。
- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待つてからコマンドを送信してください。



4 リモコンの 、、、、 または本体の を押し、入力モードを選ぶ

- 本体の  を押すと、

→入力1→入力2→入力3→入力4→入力5

の順番で切り換わります。

メモ

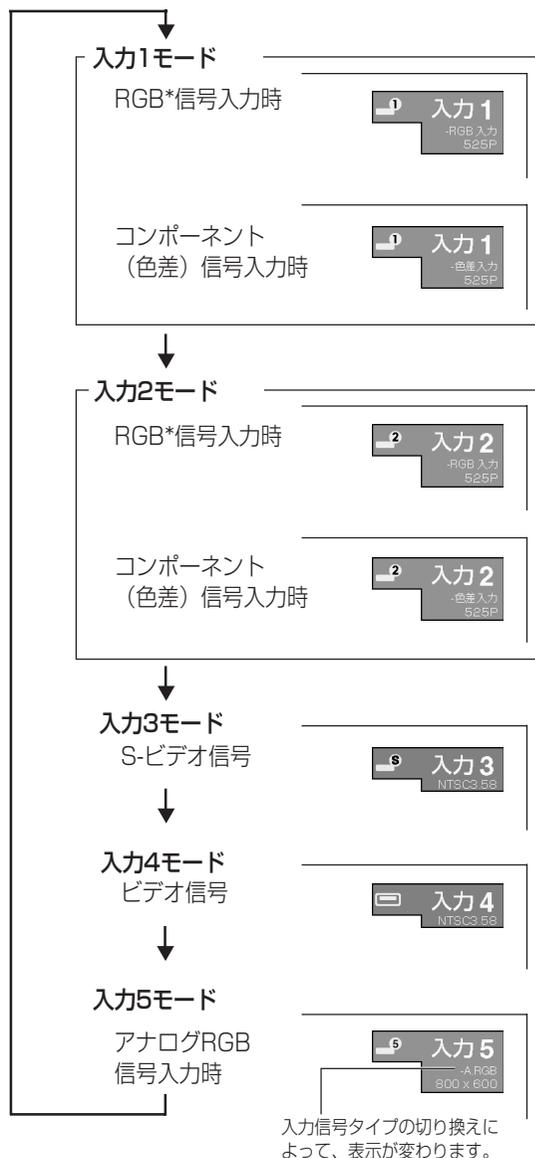
- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「OSD表示」が「レベルA」または「レベルB」に設定されていると、入力モードは表示されません。(68ページ)

入力モードについて

INPUT 1 INPUT 2 (色差/RGB*)	INPUT 1 または 2 端子に接続した機器のコンポーネント(色差)信号またはRGB信号を投射したいとき
INPUT 3 (S-ビデオ)	S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投射したいとき
INPUT 4 (ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投射したいとき
INPUT 5 (デジタルPC RGB/ デジタルPC色差/ デジタルビデオRGB/ デジタルビデオ色差/ アナログRGB/ アナログ色差)	DVI入力端子に接続した機器の映像を投射したいとき

* コンピューターRGB信号ではなく、ハイビジョンのRGB信号を入力してください。

▼表示画面(例)



投映のしかた(つづき)

■電源を切る(待機状態にする)ときは

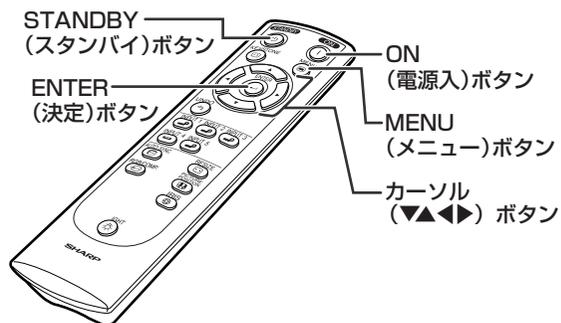
5 リモコンの  または本体の  を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、 または  を押す

メモ

- 間違っ て  を1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、操作に戻ることができます。

お知らせ

- 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。
- アンプ等と接続して使用している場合に電源を切るときは、接続している機器の電源を切ってからプロジェクターの電源を切ってください。



 プロジェクターを待機状態にしますか？
決定: もう一度押す 中止: 少し待つ

キーストーン補正と垂直サイズ調整

画面の台形歪みを補正し、画面の垂直サイズを調節する

キーストーン（画面の台形歪み）補正と垂直サイズ調整が行えます。

メモ

※キーストーン補正とは

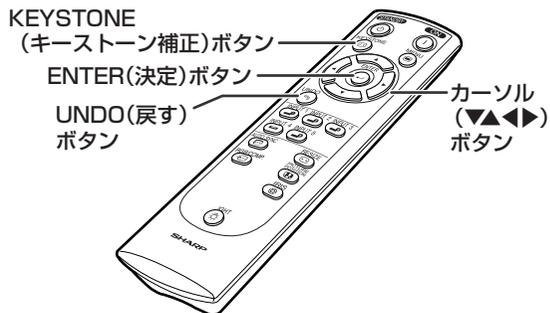
- 映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投射すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。
- キーストーンで補正できるスクリーンに対する上下の角度は±約20度までです。（設置方法について、くわしくは7ページ、30ページをご覧ください。）
- キーストーン補正が機能しない入力信号があります。

1

KEYSTONE

 を押す

- 押すたびに、右図のように切り換わります。



*キーストーン補正が0のときは垂直サイズは表示されません。

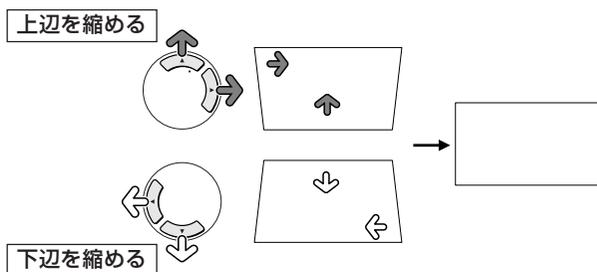
キーストーン補正と垂直サイズ調整(つづき)

2 キーストーン補正をするときは、キーストーン補正画面にして▲、▶または▼、◀を押し、調整する

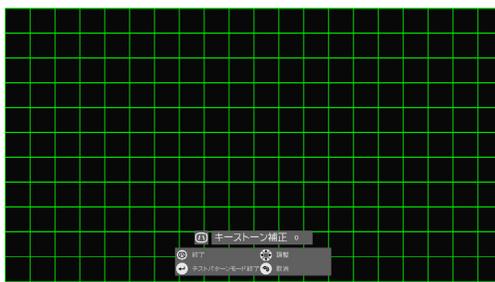
- より忠実に補正したいときは、を押してテストパターンを表示させ、▲、▶または▼、◀を押し調整します。

メモ

- 台形の歪みは±約20度まで補正できるので、実際のスクリーンもその角度まで傾けて設置できます。
- キーストーン補正調整を取り消すときは、を押します。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。



テストパターン表示時



3 垂直サイズ調整をするときは、もう一度 を押し、垂直サイズ調整画面にする

4 ▼、▲を押し、映像の垂直サイズを調整し、 を押す

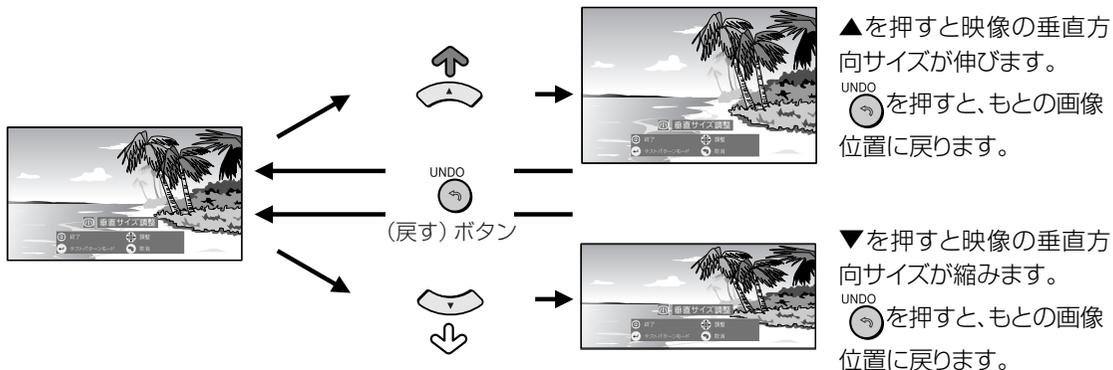
- 垂直サイズについて、くわしくは次のページをご覧ください。

メモ

- 垂直サイズ調整を取り消すときは、を押します。

垂直サイズ調整

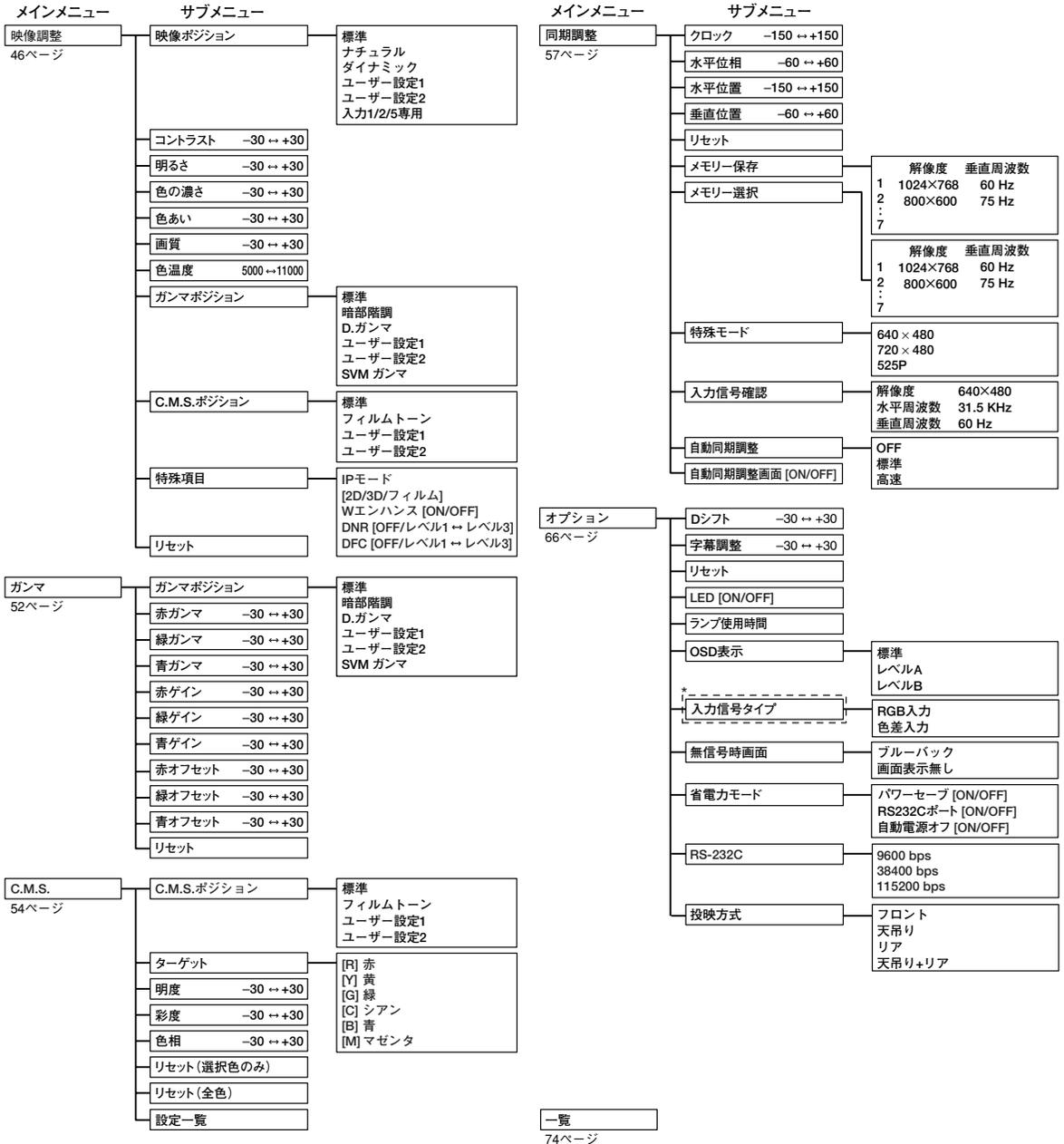
レンズシフト機能とキーストーン補正機能を組み合わせて使用すると、画面のアスペクト比が変わることがあります。その場合は、「垂直サイズ調整」機能を使ってアスペクト比の調整を行ないます。



メニュー表示内容一覧

プロジェクターで設定できる項目を示します。

■入力1/入力2/入力5モードのとき

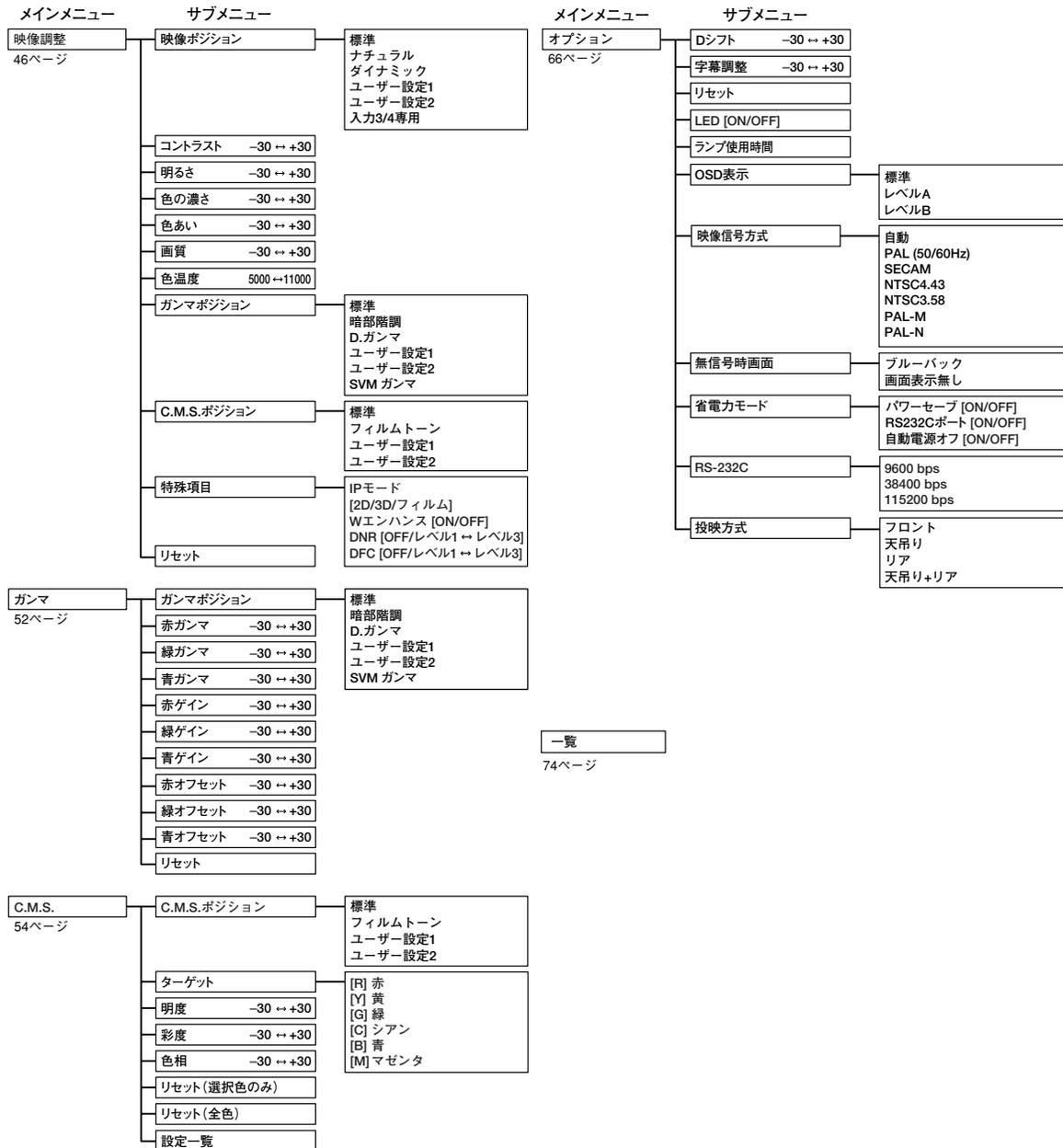


* 入力5のとき「入力信号タイプ」の項目は「D. PC RGB」、「D. PC 色差」、「D. ビデオ RGB」、「D. ビデオ 色差」、「A. RGB」、「A. 色差」が表示されます。



- チャートに示された解像度、垂直周波数、水平周波数の値は例として表示しています。
- 映像調整メニューは入力される信号によって、表示される項目が変化します。

■入力3/入力4モードのとき

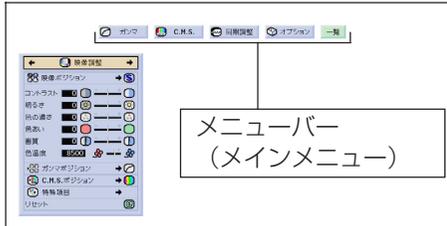


メニューの使いかた

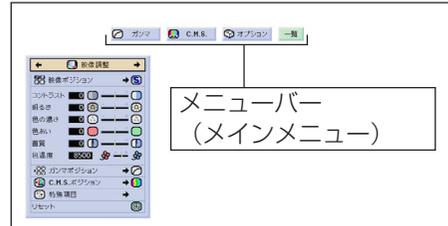
このプロジェクターには、画像の調整や、いろいろな設置に対応するため2つのメニューを用意しています。

メニューの操作は、次の手順に従ってプロジェクター本体、またはリモコンで行います。

入力1/2/5モードのメニュー画面例



入力3/4モードのメニュー画面例



メニューの選択 (調整)

1 MENU (決定) ボタンを押す

- メニュー画面が表示されます。

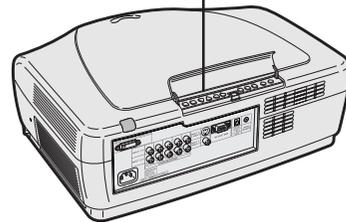
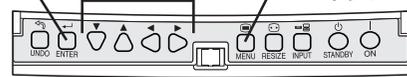
メモ

- 選んでいるINPUT (入力) モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 右下図は、入力1、入力2または入力5の表示画面です。

カーソル (▼、▲、◀、▶) ボタン

ENTER (決定) ボタン

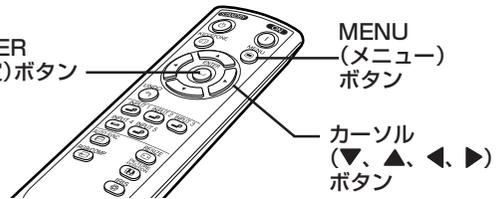
MENU (メニュー) ボタン



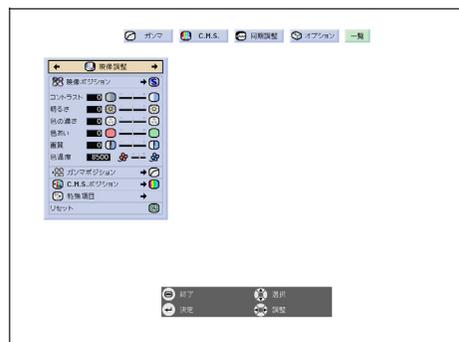
ENTER (決定) ボタン

MENU (メニュー) ボタン

カーソル (▼、▲、◀、▶) ボタン



▼メニュー画面



2 ◀または▶を押し、調整するメニューを選ぶ

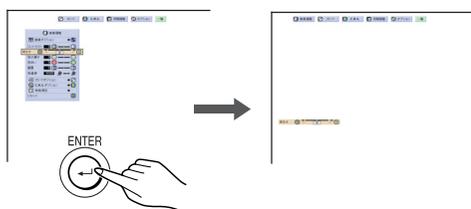
メモ

- メニューの詳細については40.41ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。

3 ▼または▲を押し、調整する項目を選ぶ

メモ

- 調整項目をひとつだけ表示するには、調整する項目を選んだ後でENTERを押してください。メニューバーと、選んだ調整項目だけが表示されます。この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(「コントラスト」の次は「明るさ」)が表示されます。



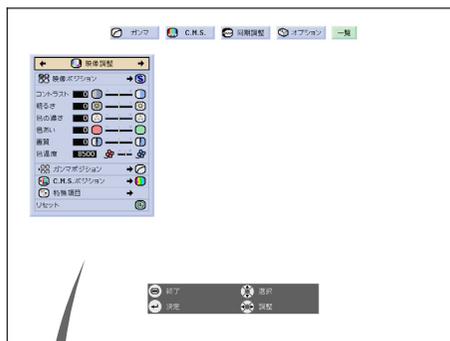
- UNDOを押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。

5 MENUを押す

- メニュー画面が消えます。



メニューの使いかた(つづき)

メニューの選択(設定)

1 MENU を押す

メモ

- 選んでいるINPUT(入力)モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。
- 右下図は入力1、入力2または入力5の表示画面です。

2 ◀または▶ を押し、調整するメニューを選ぶ

メモ

- メニューの詳細については40、41ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。

3 ▼または▲ を押し、設定する項目を選ぶ

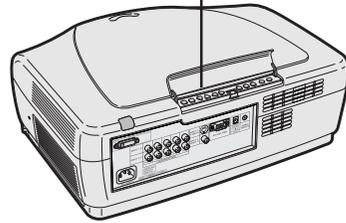
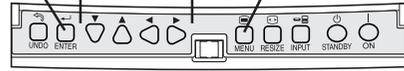
メモ

- **UNDO** を押すと、前の画面に戻ります。

カーソル
(▼、▲、◀、▶)ボタン

ENTER
(決定)ボタン

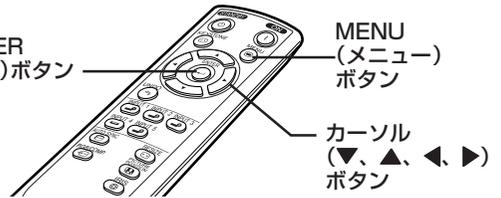
MENU
(メニュー)
ボタン



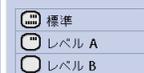
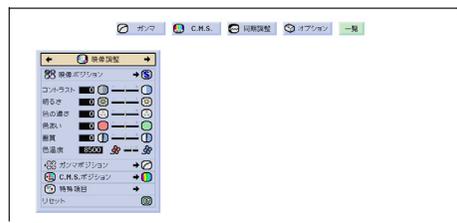
ENTER
(決定)ボタン

MENU
(メニュー)
ボタン

カーソル
(▼、▲、◀、▶)
ボタン



▼メニュー画面

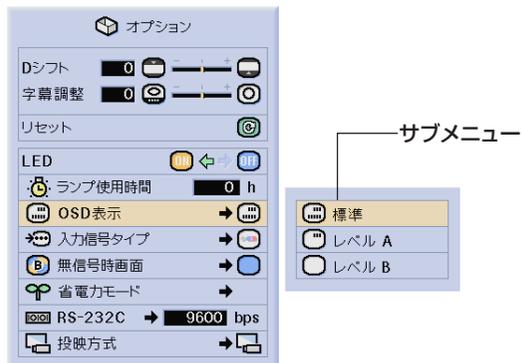


4 ▶を押す

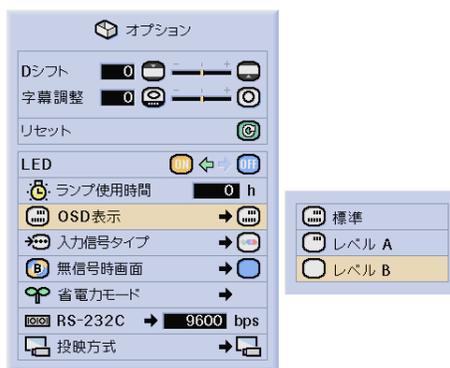
- カーソルがサブメニューに移ります。

メモ

- メニューによっては、◀▶ ボタンを押し「▶」でアイコンを選び設定します。



5 ▼または▲を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ



6 ^{ENTER}を押す

- 選んだ項目が設定されます。

メモ

- メニューの項目によっては、設定事項の確認画面が表示されます。
項目を設定するときは◀または▶で「はい」または「OK」を選び、^{ENTER}を押します。
- 「省電力モード」の「ON」か「OFF」を選択するときは、^{ENTER}を使用します。
- 映像メニューの「特殊項目」の各項目を設定するときは、^{ENTER}を使用します。

7 ^{MENU}を押す

- メニュー画面が消えます。

映像を調整する

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。



映像ポジションを選ぶ

部屋の明るさや再生するソフトの内容に合わせて映像ポジションを選ぶことができます。あらかじめ設定された3種類の映像ポジションと、お好みの設定を記憶できる3つのポジションがあります。

すべてのポジションは、調整内容を変更し記憶させることができます。先にポジションを選択してから映像調整を行ってください。

メニュー画面の映像調整メニューから「映像ポジション」を選び設定する

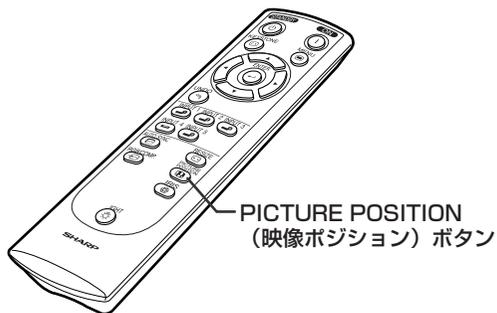
メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照



選択項目	内容
標準	標準の設定です。
ナチュラル	落ち着いた画質になります。
ダイナミック	メリハリのある画質になります。
ユーザー設定1	お好みの映像調整内容を記憶させることができます。
ユーザー設定2	
入力1専用 } 入力5専用	入力モードごとに設定を保存できません。

メモ

- PICTURE POSITION ボタンを押すと、ダイレクトに「映像ポジション」の内容を選択することができます。PICTURE POSITION ボタンを押すたびに、ポジションが切り換わります。



見やすい映像に調整する

メニュー画面で映像調整メニューを調整する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照

調整項目	状態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎる時	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、または薄いとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかる	緑がかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

メモ

- 映像調整メニューは入力される信号によって、表示される項目が変化します。
- 入力モードと入力信号タイプの組み合わせによっては、調整できない映像調整メニューがあります。



ガンマポジションを選択する

お好みのガンマポジションを選択できます。

メニュー画面の映像調整メニューから「ガンマポジション」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

メモ

- メニュー画面の「ガンマ」で、より詳細なガンマ調整をすることができます(52ページ)。



映像を調整する(つづき)

C.M.S.ポジションを選ぶ

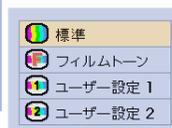
お好みのカラー設定ポジションを選択できます。

メニュー画面の映像調整メニューから「C.M.S.ポジション」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

メモ

- メニュー画面の「C.M.S.」で、詳細なカラー調整をすることができます(54ページ)。

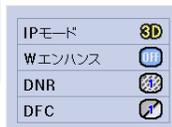


特殊項目を設定する

メニュー画面の映像調整メニューから「特殊項目」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
IPモード	映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを選択します。(49ページ)
Wエンハンス	コントラストを強調します。(50ページ)
DNR	ドットのちらつきやノイズを軽減します。(50ページ)
DFC	映像の輪郭線を強調します。(51ページ)



IPモードを設定する

映像に合わせて、最適なプログレッシブモードを使うことでビデオ表示がよりスムーズになります。

映像調整メニューの「特殊項目」から「IPモード」を選び設定する

- 「IPモード」は  を押して切り換えます。

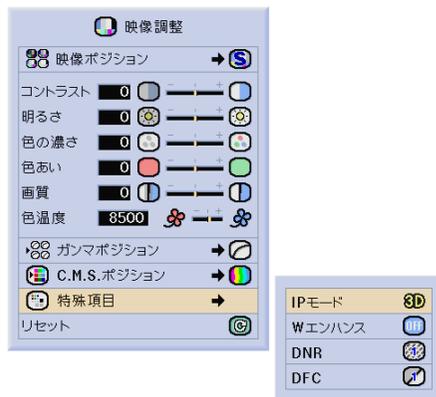
メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

選択項目	内容
 2D (2Dプログレッシブ)	スポーツやアクション映画など、動きの速い映像を表示するのに適しています。
 3D (3Dプログレッシブ)	ドラマやドキュメンタリーなど、比較的動きの遅い映像を表示するのに適しています。
 (フィルム)	フィルムイメージ*映像ソフトを再生するのに適しています。

※ 24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどを再生するとき、60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

メモ

- 映像信号方式がNTSCまたはPAL 60Hzの機器でフィルムイメージ映像ソフトを再生すると、「3Dプログレッシブ」に設定していても、自動的にフィルムモード機能が働きます。
- 映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。
- プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。



映像を調整する(つづき)

コントラストを強調する

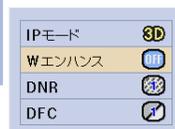
映像の明るい部分を強調することで、コントラスト比の高い映像を投影できます。

映像調整メニューの「特殊項目」から「Wエンハンス」を選び設定する

- 「Wエンハンス」は  を押して「ON」と「OFF」を切り換えます。

メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

選択項目	内容
 (入)	映像の明るい部分を強調します。
 (切)	「Wエンハンス」は機能しません。



ノイズを軽減する(DNR)

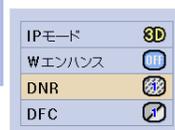
デジタルノイズリダクション(DNR)を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。

映像調整メニューの「特殊項目」から「DNR」を選び設定する

- 「DNR」は  を押して切り換えます。

メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

選択項目	内容
 (オフ)	DNRは機能しません。
 (レベル1)	映像がもっとも見やすくなるようにレベルを設定してください。
 (レベル2)	
 (レベル3)	



メモ

次のような場合は「OFF (オフ)」に設定します。

- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投射しているとき

お知らせ

- INPUT (入力) 3またはINPUT (入力) 4に信号が入力されているときに設定が行えます。
- INPUT (入力) 1または2を選んでいるときは、入力された信号が525I、525PのときにDNRの設定が行えます。

映像の輪郭線を強調する (DFC)

映像の輪郭の特性をお好みに合わせて選ぶことができます。

映像調整メニューの「特殊項目」から「DFC」を選び設定する

- 「DFC」は  を押して切り換えます。

メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

選択項目	内容
 (OFF)	標準の設定です。
 (レベル1)	輪郭線を少しクッキリさせます。
 (レベル2)	↕
 (レベル3)	

設定した内容をリセットする

映像調整メニューの設定内容すべてを工場出荷時の状態に戻します。

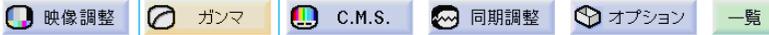
映像調整メニューから「リセット」を選び  を押す

メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照



ガンマを調整する

ガンマポジションを選択することで、ガンマカーブに調整を加え、よりきめの細かな画質が可能です。

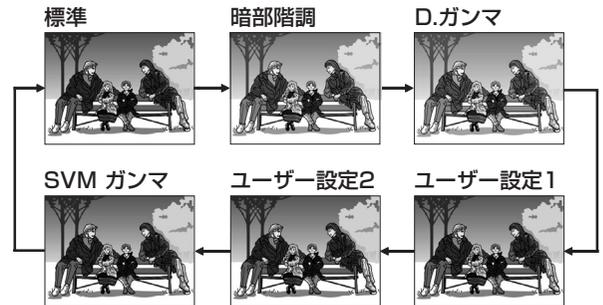


ガンマポジションを選択する

メニュー画面のガンマメニューから「ガンマポジション」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
標準	標準の設定です。
暗部階調	映像の暗い部分に深みを増します。
D.ガンマ (ダイナミックガンマ)	メリハリのある力強い映像になります。
ユーザー設定 1~2	赤、緑、青それぞれのガンマカーブを調整します。
SVM ガンマ	SharpVision Managerソフトウェアを使って、ガンマ値を調整します。



メモ

- 設定したガンマポジションは「映像調整」メニューの「ガンマポジション」で選択できます。
- より細かなガンマ設定をするときは、「ユーザー設定1」か「ユーザー設定2」を選択します。
- 「SVM ガンマ」を選択するときは、付属のSharpVision Manager取扱説明書をご覧ください。

ガンマを調整する

ユーザー設定で、より細かなガンマ調整をすることができます。「ガンマポジション」が「ユーザー設定1」か「ユーザー設定2」に設定されているときに調整することができます。

メニュー画面のガンマメニューのからガンマ調整項目を選び設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照



メモ

- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び  を押します。



調整項目	調整内容	◀ ボタン	▶ ボタン
赤ガンマ	赤色の表示特性を調整します。	赤色の明るい部分に深みを増します。	赤色の暗い部分に深みを増します。
緑ガンマ	緑色の表示特性を調整します。	緑色の明るい部分に深みを増します。	緑色の暗い部分に深みを増します。
青ガンマ	青色の表示特性を調整します。	青色の明るい部分に深みを増します。	青色の暗い部分に深みを増します。
赤ゲイン	赤色のコントラストを調整します。	赤色のコントラストを弱めます。	赤色のコントラストを強めます。
緑ゲイン	緑色のコントラストを調整します。	緑色のコントラストを弱めます。	緑色のコントラストを強めます。
青ゲイン	青色のコントラストを調整します。	青色のコントラストを弱めます。	青色のコントラストを強めます。
赤オフセット	赤色の明るさを調整します。	赤色の明るさを弱めます。	赤色の明るさを強めます。
緑オフセット	緑色の明るさを調整します。	緑色の明るさを弱めます。	緑色の明るさを強めます。
青オフセット	青色の明るさを調整します。	青色の明るさを弱めます。	青色の明るさを強めます。

カラーマネジメント機能 (C. M. S.)

赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色それぞれを個別に調整できる機能です。



C.M.S.ポジションを選ぶ

メニュー画面のC. M. S. メニューから「C.M.S.ポジション」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
標準	標準の設定です。
フィルムトーン	淡く落ち着いた色合いになります。
ユーザー設定1~2	「明度」、「彩度」、「色相」を6色それぞれに調整できます。

メモ

- 「C.M.S.ポジション」が「標準」に設定されているとき、「C.M.S.」メニューの他の項目は調整できません。



ユーザー設定で6色それぞれの特性を個別に調整する

対象の色を選ぶ

メニュー画面のC. M. S. メニューから「ターゲット」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照



R	赤	C	シアン
Y	黄	B	青
G	緑	M	マゼンタ

対象色の明るさを設定する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「明度」を選び
設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照



対象色の彩度を設定する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「彩度」を選び
設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照



対象色の色相を設定する

メニュー画面のC. M. S. メニューから「色相」を選び
設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照



カラーマネージメント機能 (C. M. S.) (つづき)

ユーザー設定で調整や設定した色の設定をリセットする

メニュー画面のC. M. S. メニューから「リセット(選択色のみ)」または「リセット(全色)」を選び設定する
メニュー画面の操作⇒42ページ参照

選択項目	内容
リセット(選択色のみ)	ターゲットで選択している色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定が工場出荷時の状態にリセットされます。
リセット(全色)	すべての色の「明度」、「彩度」、「色相」の設定が工場出荷時の状態にリセットされます。



ユーザー設定で設定した6色それぞれの設定値を確認する

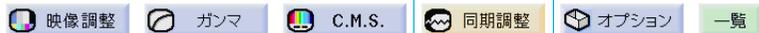
メニュー画面のC. M. S. メニューから「設定一覧」を選び確認する
メニュー画面の操作⇒42ページ参照



	R	Y	G	C	B	M
明度	0	0	0	0	0	0
彩度	0	0	0	0	0	0
色相	0	0	0	0	0	0

コンピュータの画面を調整する

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。



自動同期調整がOFFのとき

自動同期調整がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキや縦縞が出るなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

メニュー画面の同期調整メニューから「クロック」、「水平位相」、「水平位置」、「垂直位置」を選び調整するメニュー画面の操作➡42ページ参照

調整項目	内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します。 (トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- コンピュータの映像は AUTO SYNC を使うと、簡単に調整できます。くわしくは59ページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び ENTER を押します。



画面調整の内容を登録する

いろいろなコンピュータと接続して使用できるように、調整内容を7種類まで登録できます。

メニュー画面の同期調整メニューから「メモリー保存」を選び登録する

メニュー画面の操作➡44ページ参照



	解像度	垂直周波数
1	1024 × 768	60 Hz
2		
3		
4		
5		
6		
7		

コンピュータの画面を調整する(つづき)

登録した調整内容呼び出す

プロジェクターに登録した画面調整の内容を呼び出して設定することができます。

メニュー画面の同期調整メニューから「メモリー選択」を選ぶ
メニュー画面の操作⇒44ページ参照

メモ

- メモリー番号を設定しなければ、解像度と垂直周波数は表示されません。
- 「メモリー選択」項目で、すでに登録済みの調整内容を呼び出すと、プロジェクターを登録済みの調整内容に設定できます。



	解像度	垂直周波数
1	1024 X 768	75 Hz
2		
3		
4		
5		
6		

特殊モードを設定する

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

メニュー画面の同期調整メニューから「特殊モード」を選び、解像度を設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させないでください。（チラツキがおこり、画面が見にくくなります。）
- 525P（プログレッシブ）出力のDVDプレーヤーや、デジタルビデオを接続したときは、525Pを選択してください。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、次の「入力信号情報を表示する」をご覧ください。



	解像度
1	525 P
2	640 X 480
3	720 X 480
4	
5	
6	

入力信号情報を表示する

この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

メニュー画面の同期調整メニューから「入力信号確認」を選び確認する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照



解像度	1024 × 768
水平周波数	48.2 kHz
垂直周波数	60 Hz

自動同期調整

コンピュータの画面を自動調整します。

メニュー画面の同期調整メニューから「自動同期調整」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

メモ

"標準"または"高速"に設定すると

- プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
- 「標準」は「高速」に比べて、正確に同期調整を行います。そのため、同期調整の時間が若干長くなります。

同期調整を手動で行うとき

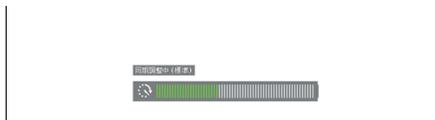
- 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で同期調整をしてください。(57ページをご覧ください。)
- プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

AUTO SYNC (自動同期調整) ボタンを押し調整するとき

- 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき、AUTO SYNC を押し、高速モードで自動調整を行います。1分以内に再度押し、標準モードで自動調整を行います。



同期調整中表示



AUTO SYNC
(自動同期調整) ボタン



コンピュータの画面を調整する(つづき)

自動同期調整時の画面表示機能

自動同期調整中に表示される画面を設定します。

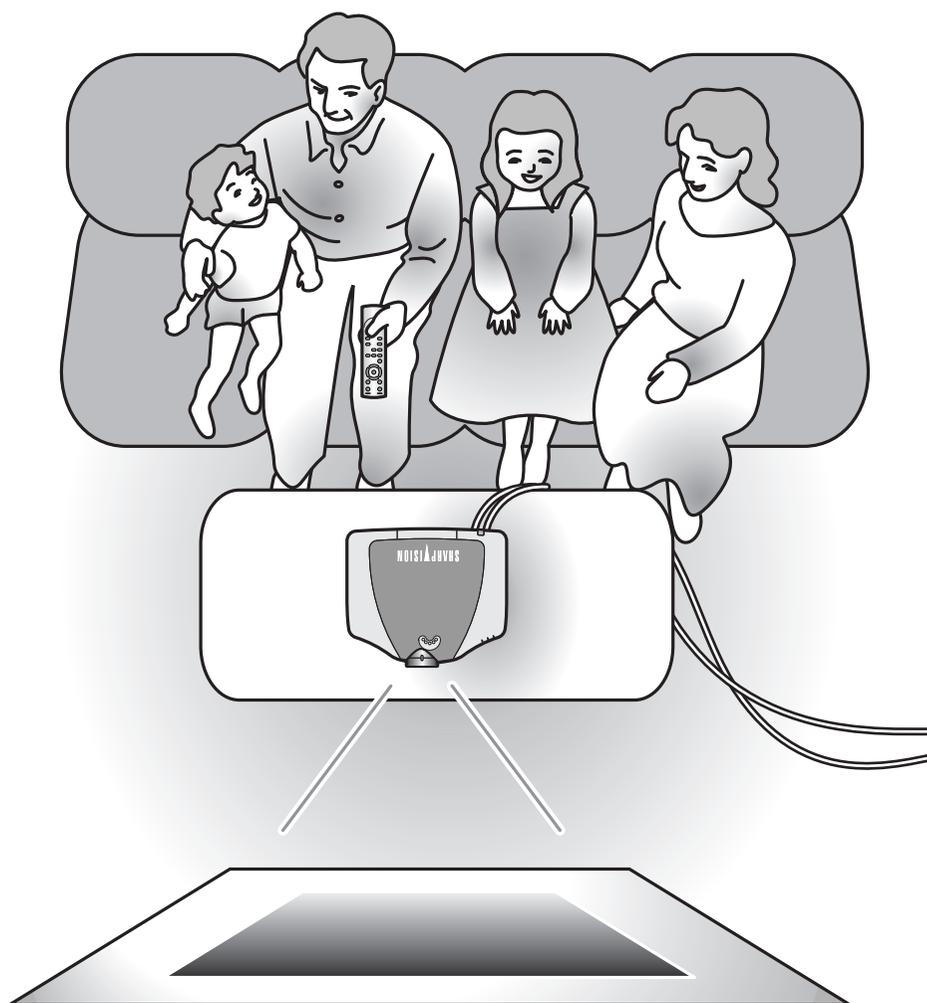
メニュー画面の同期調整メニューから「自動同期調整画面」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
	無信号時画面で設定されている画面が投映されます。
	調整中のコンピュータ画面が表示されます。



便利な機能を使う



画像表示モードを選ぶ

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。入力信号の種類によって、「標準」・「ワイド」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ドットバイドット」を選んでください。

入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

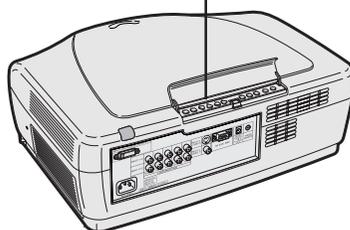
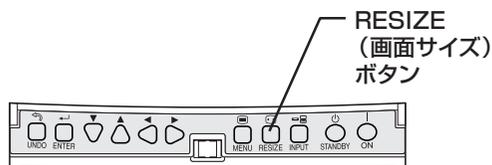
RESIZE

を押す

- 押すたびに、画像表示モードは**63、64**ページのように変わります。

メモ

- 「ドットバイドット」モードでは映像を元の解像度で表示するため拡大されません。
- 初期の状態に戻るには、「画面サイズ」が画面に表示されているとき、を押してください。



画像表示モード表示



ビデオ

		標準	ワイド	ズーム	スクイーズ(フル)	ドットバイドット
縦横比 4:3	525I 525P NTSC PAL SECAM	960 × 720	1280 × 720	1280 × 720	1280 × 720	-
	525P	960 × 720	1280 × 720	1280 × 720	1280 × 720	-
縦横比 16:9	750P	-	-	-	1280 × 720	1280 × 720
	1125I	-	-	-	1280 × 720	-

メモ

- 750P入力時のドットバイドットは、PCからの750P出力を見る際にお選びください。
- 1125Iの映像信号を入力したときは、スクイーズ(フル)に固定されます。

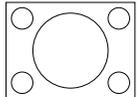
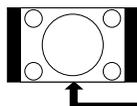
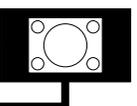
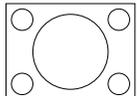
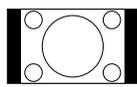
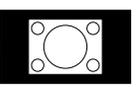
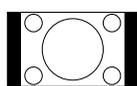
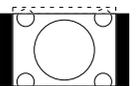
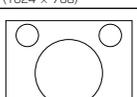
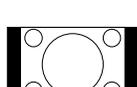
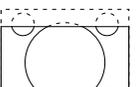
入力信号	表示イメージ				
	標準	ワイド	ズーム	スクイーズ(フル)	ドットバイドット
縦横比4:3					
525I 525P NTSC PAL SECAM レターボックス					
スクイーズ					
1125I 縦横比16:9					
750P					

* これらの画像で「Dシフト(デジタルシフト)」機能および「字幕調整」機能を使用できます。

画像表示モードを選ぶ(つづき)

コンピュータ

		標準	ドットバイドット
縦横比4:3	SVGA (800 × 600)	960 × 720	800 × 600
	XGA (1024 × 768)	960 × 720	1024 × 720
	SXGA (1280 × 960)	960 × 720	1280 × 720
縦横比16:9	SXGA (1280 × 1024)	900 × 720	1280 × 720

	入力信号	表示イメージ	
		標準	ドットバイドット
VGA	 縦横比4:3 (640 × 480)		
SVGA	 縦横比4:3 (800 × 600)		
XGA	 縦横比4:3 (1024 × 768)		
SXGA	 縦横比5:4 (1280 × 1024)		

高輝度モード/高コントラストモード切換機能

高輝度モード/高コントラストモード切換機能を使うと、映像の明るさやコントラストの強さを調整できます。

この機能はリモコンのIRIS (アイリス) ボタンを使用します。

高輝度モード/高コントラストモード切換機能を使用する

 IRIS を押してお好みのモードを選択する

- 押すたびに、「高輝度モード」「ミドルモード」「高コントラストモード」の順に切り換わります。

選択モード	内容
高輝度モード	コントラストより明るさを優先させたモード
ミドルモード	高輝度と高コントラストの中間のモード
高コントラストモード	明るさよりコントラストを優先させたモード

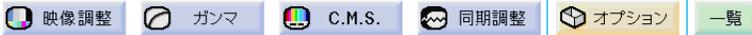
メモ

- 工場出荷時は「高輝度モード」に設定されています。



デジタルシフト機能

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器からの16:9ワイド信号を投影するとき、映像の位置を垂直方向に調整できます。



映像の位置を垂直方向に調整する

メニュー画面のオプションメニューから「Dシフト(デジタルシフト)」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照

調整方向	内容
+側	映像が上に移動します。
-側	映像が下に移動します。

メモ

- 「Dシフト」は「ワイド」か「ズーム」が選択されているときのみ機能します。くわしくは62ページをご覧ください。



字幕調整をする

映画など字幕の付いた映像を投影して、字幕がスクリーンからはみ出したときに、縦方向の映像サイズを調節することで、スクリーンに収めるようにできます。

映像の縦サイズを調整する

メニュー画面のオプションメニューから「字幕調整」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒42ページ参照

調整方向	内容
+側	縦方向に拡大されます。
-側	縦方向に圧縮されます。

メモ

- 字幕付きの映像を切り換えたとき、映像の下部が上にあがるだけでなく、上部に歪みが生じます。
- 「字幕調整」と「Dシフト」機能を組み合わせると便利です。
- 「字幕調整」は「ワイド」か「ズーム」が選択されているときのみ機能します。くわしくは62ページをご覧ください。



LED (お知らせ表示) 消灯機能

放映中にLED (お知らせ表示) の光が気になる場合は、消灯させることができます。

映像調整 ガンマ C.M.S. 同期調整 オプション 一覧

LEDを消灯させる

オプションメニューから「LED」を選び設定する
メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
ON (点灯)	LEDが点灯します。
OFF (消灯)	放映中はLEDが消灯します。(スタンバイ時・起動時および警告表示のときは点灯します。)

メモ

- 無信号時自動電源オフ機能が「OFF (切)」に設定されているときは、「LED」は自動的に「ON (点灯)」になります。LED消灯機能を使いたい場合は、必ず無信号時自動電源オフ機能を「ON (入)」にしてください。(72ページ)



ランプの使用時間を確認する

ランプの使用時間を確認するには

ランプの使用時間が表示されます。

メニュー画面でオプションを選び「ランプ使用時間」を確認する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

メモ

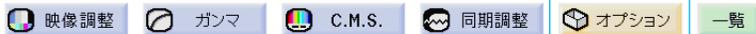
- ランプは約1,900時間の使用で交換することをおすすめします。
ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター(92ページ)にお問い合わせください。



ランプ使用時間
(タイマー)

画面表示を設定する

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を" "または" "に設定すると、INPUT (入力切替) ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表れません。



画面表示を消す

メニュー画面のオプションメニューから「OSD表示」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
 標準	画面表示のすべてが表示されます。
 レベルA	入力と自動同期は表示されません。
 レベルB	メニュー、キーストーン補正、垂直サイズおよび警告用のメッセージ (電源オフ、温度、ランプ交換など) 以外は表示されません。



入力信号の種類を設定する

INPUT (入力) 1、2入力時またはデジタルPC RGB、デジタルPC色差、デジタルビデオRGB、デジタルビデオ色差、アナログRGB、アナログ色差がINPUT (入力) 5から入力されているとき、入力信号に合わせてRGBかコンポーネント (色差) を選択します。



信号の種類を設定する

メニュー画面のオプションメニューから「入力信号タイプ」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照



入力1/2モードのとき

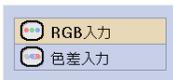
RGB入力	RGB信号を映像機器から入力したときに設定します。
↑↓	
色差入力	アナログコンポーネント (色差) 信号を映像機器から入力したときに設定します。

入力5モードのとき

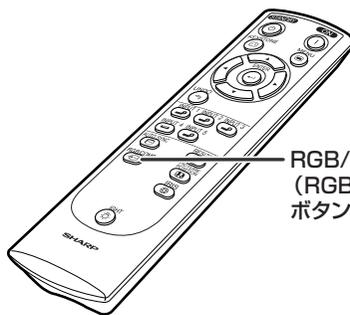
D. PC RGB	デジタルPC RGB信号をコンピューターから入力したときに設定します。
↑↓	
D. PC 色差	デジタルPC コンポーネント (色差) 信号をコンピューターから入力したときに設定します。
↑↓	
D. ビデオ RGB	デジタルビデオRGB信号を映像機器から入力したときに設定します。
↑↓	
D. ビデオ 色差	デジタルビデオコンポーネント (色差) 信号を映像機器から入力したときに設定します。
↑↓	
A. RGB	アナログRGB信号を入力したときに設定します。
↑↓	
A. 色差	アナログコンポーネント (色差) 信号を入力したときに設定します。

- 入力信号タイプは を押しても切り換えできます。ただし、その場合は上表にある矢印 (↑↓) での切り換えになります。

入力1/2モードのとき



入力5モードのとき



RGB/COMP.
(RGB/コンポーネント信号切換)
ボタン

再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。



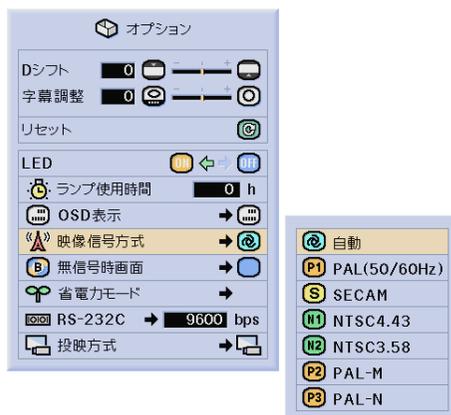
映像信号方式を設定する

メニュー画面のオプションメニューから「映像信号方式」を選び設定する

メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

メモ

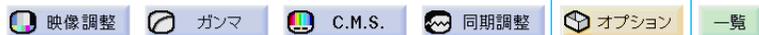
- 映像信号方式は、INPUT (入力) 3、4モード以外では設定できません。
- 「自動」では、PAL-NおよびPAL-Mを入力してもPAL表示になります。



PAL (50/60Hz)	PAL方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

無信号時に表示する画面を設定する

プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選ぶことができます。



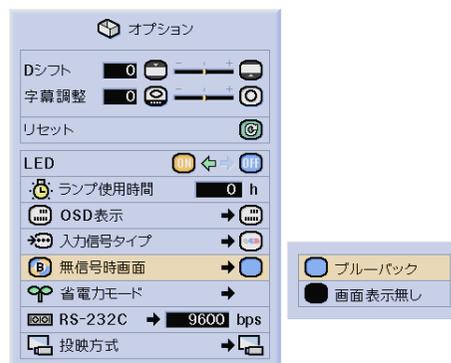
無信号時画面の設定

メニュー表示のオプションメニューから「無信号時画面」を選び設定する

メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

選択項目	無信号時画面
<input type="radio"/> ブルーバック	青い画面
<input type="radio"/> 画面表示無し	入力信号画面*

* 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。



省電力モードを設定する

省電力モードは、通常動作時や電源スタンバイ時にプロジェクターの消費電力を減らすための設定です。



パワーセーブ機能

メニュー画面のオプションメニューから「省電力モード」→「パワーセーブ」を選び設定する

- ・「パワーセーブ」は^{ENTER}を押して「ON」と「OFF」を切り換えます。

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
ON (入/ローパワー)	ファン音が低減するとともに、投映画面の輝度が約20%低減します。
OFF (切/標準)	工場出荷時は OFF に設定されています。



設定	輝度	ランプ消費電力
ON (ローパワー)	80%	220W
OFF (標準)	100%	270W

RS-232Cポートオフ機能

- ・本プロジェクターは、たとえ電源スタンバイ状態でも、コンピューターがRS-232C接続していると、電力を消費します。
- ・RS-232C端子にコンピューターを接続していないときは、「RS232Cポート」を「OFF」に設定することをおすすめします。電源スタンバイ時の消費電力が減らせます。

メニュー画面のオプションメニューから「省電力モード」→「RS232Cポート」を選び設定する

- ・「RS232Cポート」は^{ENTER}を押して「ON」と「OFF」を切り換えます。

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	内容
ON (入)	電源スタンバイ時にRS-232C機能が働きます。
OFF (切)	電源スタンバイ時のRS-232C機能をオフします。



メモ

- ・付属のSharpVision Managerを使っている場合には、「RS232Cポート」を「ON」に設定してください。

省電力モードを設定する(つづき)

無信号時自動電源オフ機能

メニュー画面のオプションメニューから「省電力モード」→「自動電源オフ」を選び設定する

- ・「自動電源オフ」は^{ENTER}を押して「ON」と「OFF」を切り換えます。

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

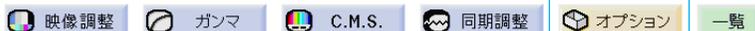
選択項目	内容
(入)	15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。
(切)	無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

メモ

- ・無信号電源オフ機能が「(入)」に設定されているとき、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。
- ・無信号時自動電源オフ機能が「OFF(切)」に設定されているときは、「LED」は自動的に「ON(点灯)」になります。LED消灯機能(67ページ)を使いたい場合は、必ず無信号時自動電源オフ機能を「ON(入)」にしてください。



RS-232Cの通信速度を設定する



通信速度(RS-232C)を選ぶ

メニュー画面のオプションメニューから「RS-232C」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

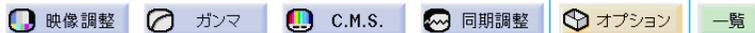
メモ

- ・プロジェクターとコンピュータの通信速度は同じ速度に合わせてください。コンピュータの通信速度の設定はコンピュータの取扱説明書をご覧ください。



映像の左右反転／上下反転のしかた

このプロジェクターは投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えておりますので、いろいろな対応が可能です。

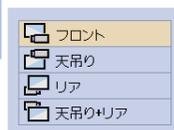


投映方式の設定

メニュー画面のオプションメニューから「投映方式」を選び設定する

メニュー画面の操作⇒44ページ参照

選択項目	画面
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右／上下反転された映像



メモ

- この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については32ページをご覧ください。



便利な機能を使う

調整内容を一覧表示する

この機能を使うと、調整した設定内容すべてをスクリーンに一覧表示することができます。



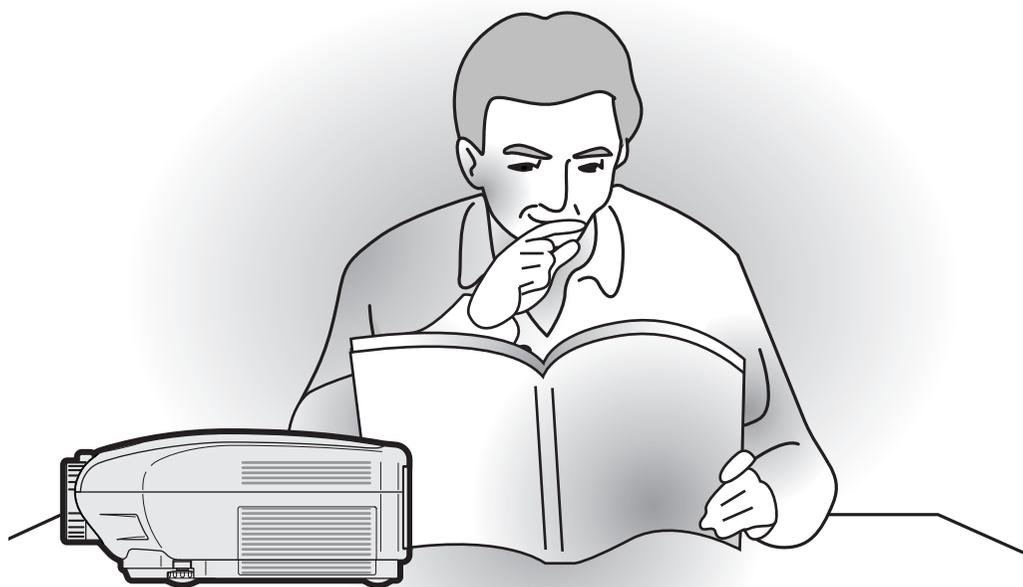
メニュー設定の一覧

一覧メニューを選び、**ENTER**を押す
メニュー画面の操作 ➡ 44ページ参照

例：入力1（RGB信号）時

映像調整	同期調整	オプション	その他	その他
映像ボジション	クロック	Dシフト	IPモード	標準 画面サイズ
コントラスト	水平位相	字幕調整	Wエンハンス	
明るさ	水平位置	LED	DNR	自動電源オフ
色の濃さ	垂直位置	ランプ使用時間	DFC	9600bps RS-232C
色あい	メモリー選択	OSD表示		投影方式
音質	特殊モード	入力信号タイプ		
色温度	自動同期調整	無信号時画面		
ガンマボジション	自動同期調整画面	パワーセーブ		
C.M.S.ボジション		RS232Cポート		

付録



SharpVision Manager (付属品) の取扱説明書の見かた

- 本機に付属のCD-ROMには、シャープシアタープロジェクター用ソフトウェア「SharpVision Manager」およびPDF取扱説明書が収録されています。
- このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAcrobat Reader4.0J以降が必要です。お持ちのコンピュータにAcrobat Reader4.0J以降がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールすることができます。

Acrobat Readerを付属のCD-ROMからインストールする

Windows コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② エクスプローラを起動する。
- ③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ④ "ACROBAT"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "CD-ROM"アイコンをダブルクリックする。
- ③ "ACROBAT"フォルダをダブルクリックする。
- ④ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

その他のオペレーティングシステムをご使用の場合

インターネット(<http://www.adobe.co.jp>)から、最新のAcrobat Readerをダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

Windows コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② エクスプローラを起動する。
- ③ "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
- ④ "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑥ "SVM2_J.PDF"ファイルをダブルクリックする。

Macintosh コンピュータの場合

- ① CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
- ② "CD-ROM"アイコンをダブルクリックする。
- ③ "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
- ④ "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
- ⑤ "SVM2_J.PDF"ファイルをクリックする。

お知らせ

- CD-ROMをCD-ROMドライブに入れた際、SharpVision Managerのインストーラが自動的に起動する場合があります。この場合は、「キャンセル」をクリックし、インストーラを終了させて下さい。
- マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Acrobat Readerをまず起動させてから、「ファイル」>「開く」メニューを使ってPDFファイルを開いてください。
- CD-ROMに保存されているREADME.TXTファイルには、この取扱説明書に含まれていない重要な情報がありますので、必ずお読みください。

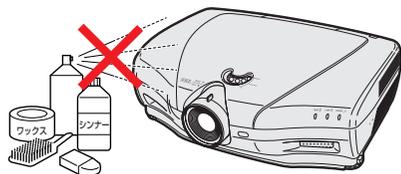
お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

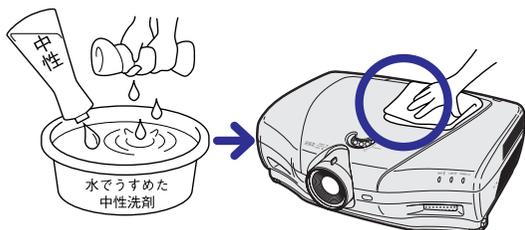
- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

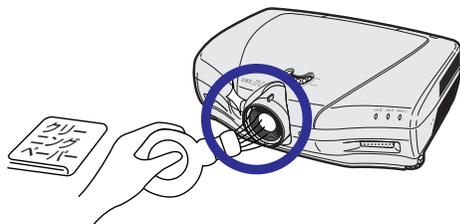


- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

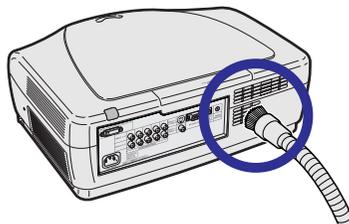
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たいたりしないでください。



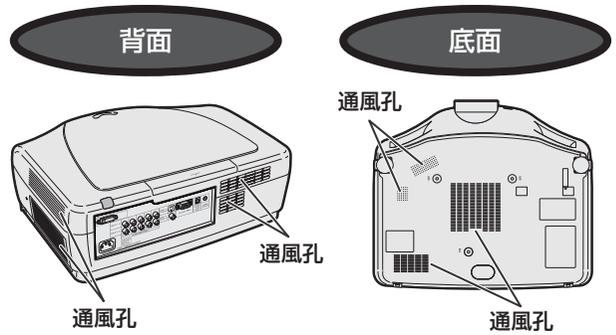
排気孔や吸気孔の手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



通風孔の掃除

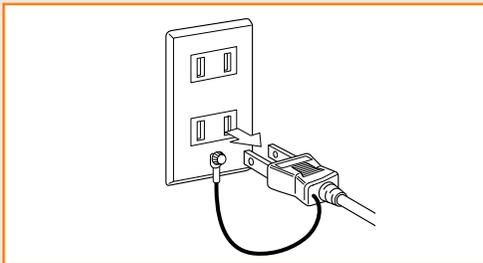
- 最適な状態でプロジェクターをご使用いただくために、通風孔があります。
- 掃除機を使って定期的に通風孔を掃除してください。
- 通風孔は約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。



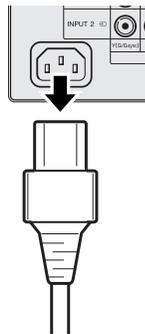
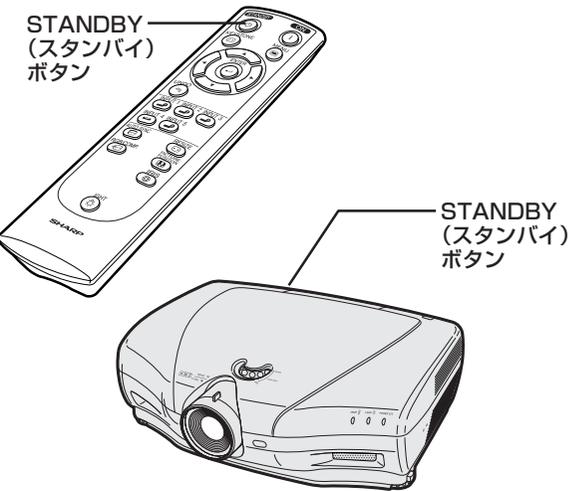
通風孔を掃除する

1 本体の  (スタンバイ) またはリモコンの  (スタンバイ) を押しプロジェクターを待機状態にし、電源コードをコンセントから抜く

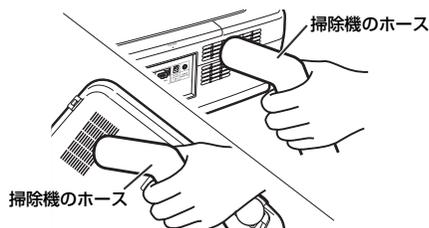
- 冷却ファンが停止するまで待ちます。
- アース線の取り外しは、必ず電源コードを抜いた後、行ってください。



2 電源コードをプロジェクターから抜く

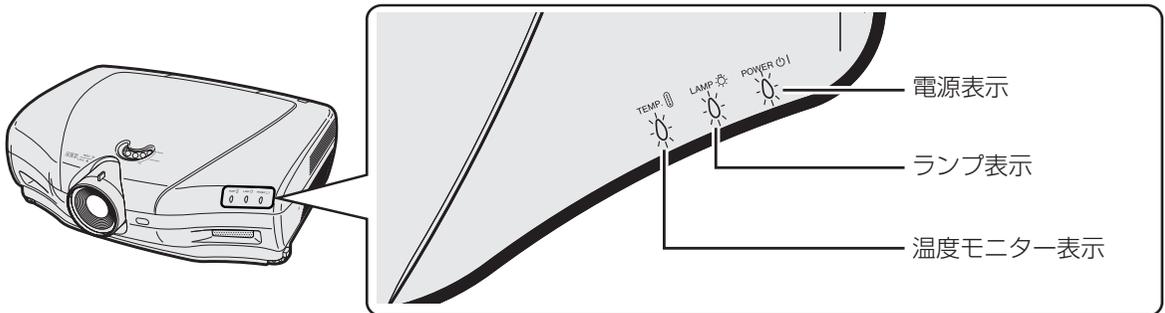


3 掃除機で、通風孔のほこりを吸い取る



お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニター表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔、エアフィルターの目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度表示が点滅、90秒のファン冷却後待機状態になります。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



ランプ交換お知らせ機能について



- ランプの総使用時間が1,900時間を超えると、画面に黄色で「」が表示され、2,000時間になると「」表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が待機状態になります。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
温度モニター表示	正常	内部温度が高温になっている。	●通風孔がふさがれている ●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障	●正しい設置場所に設置してください。 ●販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(92ページ)に修理を依頼してください。
	異常			
ランプ表示	消灯	●内部通風孔の目づまり	●通風孔の掃除を行ってください。(78ページ)	
	青色点灯* (青色点滅は光源起動中)	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	●ランプを交換してください。(81ページ)ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(92ページ)にお問い合わせください。	
電源表示	赤色点灯待機状態	●ランプの使用時間が1,900時間を超えた	●ランプを交換するときは、注意して行ってください。	
	赤色点滅	●排気孔カバーが外れている(確実に取り付けられていない)	●排気孔カバーをしっかりと取り付けてください。 ●排気孔カバーをしっかりと取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口(92ページ)にお問い合わせください。	

*「LED」が「OFF(消灯)」に設定してある場合は青色点灯しません。(67ページ)

お知らせ

- 温度モニター表示が点灯し、電源が待機状態になり、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)
- 一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 電源を待機状態にした後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

ランプについて

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約 2,000 時間です。1,900 時間を超えたら、なるべく早めに新しいランプ(別売)と交換してください。1,900 時間を超えなくても、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ使用時間は、「オプション」メニューの「ランプ使用時間」で確認できます。
- ランプの保証期間は、6ヵ月 1,000 時間以内です。6ヵ月以内でも 1,000 時間を超えたり、1,000 時間以内でも 6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。
- ランプの取り替えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター(92ページ)にお問い合わせください。



メモ

- プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は 2,000 時間以下になることがあります。



警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ交換お知らせ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。



警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気口から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプを交換する



警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも 1 時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。
- 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-XVZ100005 に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、81 ページで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

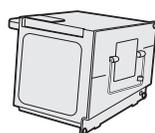


ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプ交換ユニットカバーとランプ交換ユニット以外のネジは絶対に外さないでください。(銀色のネジ以外はゆるめないでください。)
- ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

ランプ交換
ユニット



部品コード
BQC - XVZ100005
流通コード
006 626 0320

1 本体の (スタンバイ) またはリモコンの (スタンバイ) を押しプロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

警告

- プロジェクターの使用直後にランプ交換ユニットを外さないでください。ランプが非常に熱くなっているため、火傷やけがの危険があります。



2 電源コードをプロジェクターから取り外す

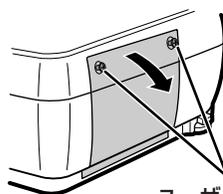
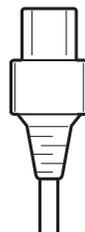
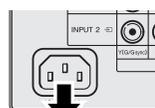
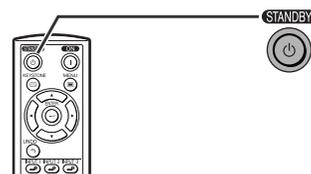
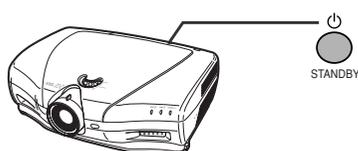
- 電源コードをAC電源ソケットよりはずします。
- ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

3 ランプ交換ユニットカバーを取り外す

- ランプ交換ユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます。その後、外します。

4 ランプ交換ユニットを取り外す

- 固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを矢印の方向に引き出します。



ユーザーサービスネジ

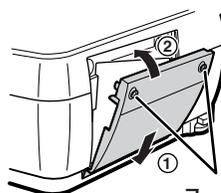
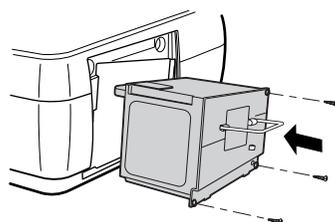
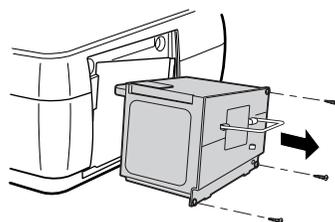
ランプについて(つづき)

5 新しいランプ交換ユニットを挿入する

- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

6 ランプ交換ユニットカバーを取り付ける

- ランプ交換ユニットカバーを矢印の方向に閉め、ユーザーサービスネジをしめます。



ユーザーサービスネジ

お知らせ

- ランプ交換ユニットとランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源コードがプロジェクターに接続されていても電源が入りません。

ランプ使用時間(タイマー)をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間(タイマー)をリセットしてください。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

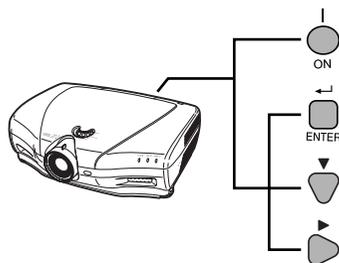
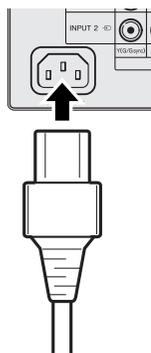
- 電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

2 ランプ使用時間(タイマー)をリセットする

- プロジェクター本体の 、、 を3つ同時に押しながら、 (電源入) を押します。
- ランプ使用時間(タイマー)がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

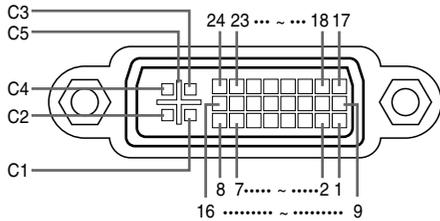
お知らせ

- ランプ使用時間(タイマー)のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間(タイマー)をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になることがあります。



本体のコネクタのピン配置

DVI デジタル(INPUT(入力)5)端子：29ピンコネクタ



●DVIデジタル入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.Sデータ2-	16	ホットプラグ検出
2	T.M.D.Sデータ2+	17	T.M.D.Sデータ0-
3	T.M.D.Sデータ2シールド	18	T.M.D.Sデータ0+
4	NC	19	T.M.D.Sデータ0シールド
5	NC	20	NC
6	DDCクロック	21	NC
7	DDCデータ	22	T.M.D.Sクロックシールド
8	NC	23	T.M.D.Sクロック+
9	T.M.D.Sデータ1-	24	T.M.D.Sクロック-
10	T.M.D.Sデータ1+	C1	NC
11	T.M.D.Sデータ1シールド	C2	NC
12	NC	C3	NC
13	NC	C4	NC
14	+5V電源	C5	接地
15	接地		

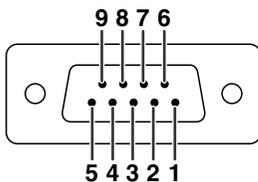
●DVIアナログRGB入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	16	ホットプラグ検出
2	NC	17	NC
3	NC	18	NC
4	NC	19	NC
5	NC	20	NC
6	DDCクロック	21	NC
7	DDCデータ	22	NC
8	アナログ垂直同期	23	NC
9	NC	24	NC
10	NC	C1	映像(赤)
11	NC	C2	映像(緑)
12	NC	C3	映像(青)
13	NC	C4	アナログ水平同期
14	+5V電源	C5	接地
15	接地		

●DVIアナログコンポーネント(色差)入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	16	NC
2	NC	17	NC
3	NC	18	NC
4	NC	19	NC
5	NC	20	NC
6	NC	21	NC
7	NC	22	NC
8	NC	23	NC
9	NC	24	NC
10	NC	C1	Pr/Cr
11	NC	C2	Y
12	NC	C3	Pb/Cb
13	NC	C4	NC
14	NC	C5	接地
15	接地		

RS-232C 端子：9ピンD-sub 雄コネクタ



ピン番号	信号	信号名	入/出	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4		予備		内部回路に接続
5	SG	信号接地		内部回路に接続
6		予備		内部回路に接続
7		予備		内部回路に接続
8		予備		内部回路に接続
9				NC

(RS-232C)仕様とコマンドの設定

パソコンの制御

コンピュータをRS-232Cケーブル(クロスタイプ、市販品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(接続については25ページをご覧ください。)

通信条件

コンピュータのシリアルポートを、表と一致するように設定します。

信号形式 : RS-232C標準に準拠
 ボーレート* : 9,600 bps/38,400 bps/115,200 bps
 データ長 : 8ビット
 パリティビット : なし
 ストップビット : 1ビット
 フロー制御 : なし

* ボーレートはプロジェクターとコンピュータとで設定を合わせてください。

基本形式

コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送られます。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式



レスポンスコード形式

通常のレスポンス



問題のあるレスポンス(通信エラーや不正なコマンド)



お知らせ

- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコマンドがプロジェクターから送られたあとで、つぎのコマンドを送信してください。
- 電源スタンバイ時にコマンドを送信した場合は、レスポンスコードが受信されるまでに最大30秒かかります。
- 電源スタンバイ時に「電源オン」コマンドで電源を入れた場合は、電源を入れた後、30秒以上経過してから次のコマンドを送信してください。

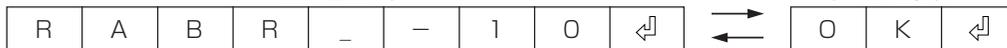
メモ

- プロジェクターのコンピュータ制御機能を使っているとき、プロジェクターの動作状況はコンピュータでは読み取れません。そのため、動作状況を確認するには各調整メニューについて表示コマンドを転送し、画面表示で一覧を確認します。プロジェクターがメニュー表示コマンド以外のコマンドを受け取ると、画面に表示せずに実行します。

コマンド

例:

- INPUT(入力) 1画像の「明るさ」が-10に設定されている場合



制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
電源オン	P	O W R _ _ _	1 OK または ERR
スタンバイ	P	O W R _ _ _	0 OK または ERR
キーストーン補正 (-127 ~ +127)	K	E Y S * * * *	OK または ERR
垂直サイズ (-10 ~ +10)	V	S I Z _ _ _ *	OK または ERR
入力1	I	R G B _ _ _	1 OK または ERR
入力2	I	R G B _ _ _	2 OK または ERR
入力3	I	V E D _ _ _	2 OK または ERR
入力4	I	V E D _ _ _	1 OK または ERR
入力5	I	R G B _ _ _	3 OK または ERR
入力の確認	I	C H K _ _ _	0 OK または ERR
自動同期調整の開始	A	D J S _ _ _	1 OK または ERR
入力1画面サイズ: 標準/ドットバイドット	R	A S R _ _ _	3 OK または ERR
入力1画面サイズ: ワイド	R	A S R _ _ _	4 OK または ERR
入力1画面サイズ: ズーム	R	A S R _ _ _	1 OK または ERR

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力1画面サイズ: スクイーズ(フル)	R	A S R _ _ _	2 OK または ERR
入力2画面サイズ: 標準/ドットバイドット	R	B S R _ _ _	3 OK または ERR
入力2画面サイズ: ワイド	R	B S R _ _ _	4 OK または ERR
入力2画面サイズ: ズーム	R	B S R _ _ _	1 OK または ERR
入力2画面サイズ: スクイーズ(フル)	R	B S R _ _ _	2 OK または ERR
入力3画面サイズ: 標準	R	B S V _ _ _	3 OK または ERR
入力3画面サイズ: ワイド	R	B S V _ _ _	4 OK または ERR
入力3画面サイズ: ズーム	R	B S V _ _ _	1 OK または ERR
入力3画面サイズ: スクイーズ(フル)	R	B S V _ _ _	2 OK または ERR
入力4画面サイズ: 標準	R	A S V _ _ _	3 OK または ERR
入力4画面サイズ: ワイド	R	A S V _ _ _	4 OK または ERR
入力4画面サイズ: ズーム	R	A S V _ _ _	1 OK または ERR
入力4画面サイズ: スクイーズ(フル)	R	A S V _ _ _	2 OK または ERR
入力5画面サイズ: 標準/ドットバイドット	R	C S R _ _ _	3 OK または ERR

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力5画面サイズ：ワイド	RCSR	4	OK または ERR
入力5画面サイズ：ズーム	RCSR	1	OK または ERR
入力5画面サイズ：スクイーズ（フル）	RCSR	2	OK または ERR
アイリス：高輝度	IRIS	1	OK または ERR
アイリス：ミドル	IRIS	2	OK または ERR
アイリス：高コントラスト	IRIS	3	OK または ERR
入力1映像ポジション：入力1ポジション	RAPS	0	OK または ERR
入力1映像ポジション：標準	RAPS	1	OK または ERR
入力1映像ポジション：ナチュラル	RAPS	2	OK または ERR
入力1映像ポジション：ダイナミック	RAPS	3	OK または ERR
入力1映像ポジション：ユーザー設定1	RAPS	4	OK または ERR
入力1映像ポジション：ユーザー設定2	RAPS	5	OK または ERR
入力1コントラスト（-30・+30）	RAPI	*	OK または ERR
入力1明るさ（-30・+30）	RABR	*	OK または ERR
入力1色の濃さ（-30・+30）	RACO	*	OK または ERR
入力1色あい（-30・+30）	RATI	*	OK または ERR
入力1画質（-30・+30）	RASH	*	OK または ERR
入力1色温度（50・110）	RACT	*	OK または ERR
入力1表示	RARE	0	OK または ERR
入力1調整のリセット	RARE	1	OK または ERR
入力2映像ポジション：入力2ポジション	RBPS	0	OK または ERR
入力2映像ポジション：標準	RBPS	1	OK または ERR
入力2映像ポジション：ナチュラル	RBPS	2	OK または ERR
入力2映像ポジション：ダイナミック	RBPS	3	OK または ERR
入力2映像ポジション：ユーザー設定1	RBPS	4	OK または ERR
入力2映像ポジション：ユーザー設定2	RBPS	5	OK または ERR
入力2コントラスト（-30・+30）	RBPI	*	OK または ERR
入力2明るさ（-30・+30）	RBBR	*	OK または ERR
入力2色の濃さ（-30・+30）	RBCO	*	OK または ERR
入力2色あい（-30・+30）	RBTI	*	OK または ERR
入力2画質（-30・+30）	RBSH	*	OK または ERR
入力2色温度（50・110）	RBCT	*	OK または ERR
入力2表示	RBRE	0	OK または ERR
入力2調整のリセット	RBRE	1	OK または ERR
入力5映像ポジション：入力5ポジション	RCP5	0	OK または ERR
入力5映像ポジション：標準	RCP5	1	OK または ERR
入力5映像ポジション：ナチュラル	RCP5	2	OK または ERR
入力5映像ポジション：ダイナミック	RCP5	3	OK または ERR
入力5映像ポジション：ユーザー設定1	RCP5	4	OK または ERR
入力5映像ポジション：ユーザー設定2	RCP5	5	OK または ERR
入力5コントラスト（-30・+30）	RCEI	*	OK または ERR
入力5明るさ（-30・+30）	RCEB	*	OK または ERR
入力5色の濃さ（-30・+30）	RCCO	*	OK または ERR
入力5色あい（-30・+30）	RCTI	*	OK または ERR
入力5画質（-30・+30）	RCSH	*	OK または ERR
入力5色温度（50・110）	RCCT	*	OK または ERR
入力5表示	RCRE	0	OK または ERR
入力5調整のリセット	RCRE	1	OK または ERR
入力1 IPモード：2Dプログレッシブ	RAIP	0	OK または ERR
入力1 IPモード：3Dプログレッシブ	RAIP	1	OK または ERR
入力1 IPモード：フィルム	RAIP	2	OK または ERR
入力1Wエンハンス：オフ	RAWE	0	OK または ERR
入力1Wエンハンス：オン	RAWE	1	OK または ERR
入力1DNR：オフ	RANR	0	OK または ERR
入力1DNR：レベル1	RANR	1	OK または ERR
入力1DNR：レベル2	RANR	2	OK または ERR
入力1DNR：レベル3	RANR	3	OK または ERR
入力1DFC：オフ	RADF	0	OK または ERR
入力1DFC：レベル1	RADF	1	OK または ERR
入力1DFC：レベル2	RADF	2	OK または ERR
入力1DFC：レベル3	RADF	3	OK または ERR
入力2 IPモード：2Dプログレッシブ	RBI P	0	OK または ERR
入力2 IPモード：3Dプログレッシブ	RBI P	1	OK または ERR
入力2 IPモード：フィルム	RBI P	2	OK または ERR
入力2Wエンハンス：オフ	RBWE	0	OK または ERR
入力2Wエンハンス：オン	RBWE	1	OK または ERR
入力2DNR：オフ	RBNR	0	OK または ERR
入力2DNR：レベル1	RBNR	1	OK または ERR
入力2DNR：レベル2	RBNR	2	OK または ERR
入力2DNR：レベル3	RBNR	3	OK または ERR
入力2DFC：オフ	RBD F	0	OK または ERR

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力2DFC：レベル1	RBD F	1	OK または ERR
入力2DFC：レベル2	RBD F	2	OK または ERR
入力2DFC：レベル3	RBD F	3	OK または ERR
入力5 IPモード：2Dプログレッシブ	RCI P	0	OK または ERR
入力5 IPモード：3Dプログレッシブ	RCI P	1	OK または ERR
入力5 IPモード：フィルム	RCI P	2	OK または ERR
入力5Wエンハンス：オフ	RCWE	0	OK または ERR
入力5Wエンハンス：オン	RCWE	1	OK または ERR
入力5DNR：オフ	RCNR	0	OK または ERR
入力5DNR：レベル1	RCNR	1	OK または ERR
入力5DNR：レベル2	RCNR	2	OK または ERR
入力5DNR：レベル3	RCNR	3	OK または ERR
入力5DFC：オフ	RCD F	0	OK または ERR
入力5DFC：レベル1	RCD F	1	OK または ERR
入力5DFC：レベル2	RCD F	2	OK または ERR
入力5DFC：レベル3	RCD F	3	OK または ERR
入力3映像ポジション：入力3ポジション	VBP5	0	OK または ERR
入力3映像ポジション：標準	VBP5	1	OK または ERR
入力3映像ポジション：ナチュラル	VBP5	2	OK または ERR
入力3映像ポジション：ダイナミック	VBP5	3	OK または ERR
入力3映像ポジション：ユーザー設定1	VBP5	4	OK または ERR
入力3映像ポジション：ユーザー設定2	VBP5	5	OK または ERR
入力3コントラスト（-30・+30）	VBPI	*	OK または ERR
入力3明るさ（-30・+30）	VBBR	*	OK または ERR
入力3色の濃さ（-30・+30）	VBCO	*	OK または ERR
入力3色あい（-30・+30）	VBTI	*	OK または ERR
入力3画質（-30・+30）	VBSH	*	OK または ERR
入力3色温度（50・110）	VBCT	*	OK または ERR
入力3表示	VBRE	0	OK または ERR
入力3調整のリセット	VBRE	1	OK または ERR
入力4映像ポジション：入力4ポジション	VAPS	0	OK または ERR
入力4映像ポジション：標準	VAPS	1	OK または ERR
入力4映像ポジション：ナチュラル	VAPS	2	OK または ERR
入力4映像ポジション：ダイナミック	VAPS	3	OK または ERR
入力4映像ポジション：ユーザー設定1	VAPS	4	OK または ERR
入力4映像ポジション：ユーザー設定2	VAPS	5	OK または ERR
入力4コントラスト（-30・+30）	VAPI	*	OK または ERR
入力4明るさ（-30・+30）	VABR	*	OK または ERR
入力4色の濃さ（-30・+30）	VACO	*	OK または ERR
入力4色あい（-30・+30）	VATI	*	OK または ERR
入力4画質（-30・+30）	VASH	*	OK または ERR
入力4色温度（50・110）	VACT	*	OK または ERR
入力4表示	VA RE	0	OK または ERR
入力4調整のリセット	VA RE	1	OK または ERR
入力3 IPモード：2Dプログレッシブ	VBI P	0	OK または ERR
入力3 IPモード：3Dプログレッシブ	VBI P	1	OK または ERR
入力3 IPモード：フィルム	VBI P	2	OK または ERR
入力3Wエンハンス：オフ	VBWE	0	OK または ERR
入力3Wエンハンス：オン	VBWE	1	OK または ERR
入力3DNR：オフ	VBNR	0	OK または ERR
入力3DNR：レベル1	VBNR	1	OK または ERR
入力3DNR：レベル2	VBNR	2	OK または ERR
入力3DNR：レベル3	VBNR	3	OK または ERR
入力3DFC：オフ	VBD F	0	OK または ERR
入力3DFC：レベル1	VBD F	1	OK または ERR
入力3DFC：レベル2	VBD F	2	OK または ERR
入力3DFC：レベル3	VBD F	3	OK または ERR
入力4 IPモード：2Dプログレッシブ	VAI P	0	OK または ERR
入力4 IPモード：3Dプログレッシブ	VAI P	1	OK または ERR
入力4 IPモード：フィルム	VAI P	2	OK または ERR
入力4Wエンハンス：オフ	VAWE	0	OK または ERR
入力4Wエンハンス：オン	VAWE	1	OK または ERR
入力4DNR：オフ	VANR	0	OK または ERR
入力4DNR：レベル1	VANR	1	OK または ERR
入力4DNR：レベル2	VANR	2	OK または ERR
入力4DNR：レベル3	VANR	3	OK または ERR
入力4DFC：オフ	VADF	0	OK または ERR
入力4DFC：レベル1	VADF	1	OK または ERR
入力4DFC：レベル2	VADF	2	OK または ERR
入力4DFC：レベル3	VADF	3	OK または ERR

映像調整

映像調整

付録

(RS-232C)仕様とコマンドの設定(つづき)

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
入力1ガンマポジション：標準	G M R A	0	OK または ERR
入力1ガンマポジション：暗部階調	G M R A	1	OK または ERR
入力1ガンマポジション：D.ガンマ	G M R A	2	OK または ERR
入力1ガンマポジション：ユーザー設定1	G M R A	3	OK または ERR
入力1ガンマポジション：ユーザー設定2	G M R A	4	OK または ERR
入力1ガンマポジション：SVMガンマ	G M R A	5	OK または ERR
入力2ガンマポジション：標準	G M R B	0	OK または ERR
入力2ガンマポジション：暗部階調	G M R B	1	OK または ERR
入力2ガンマポジション：D.ガンマ	G M R B	2	OK または ERR
入力2ガンマポジション：ユーザー設定1	G M R B	3	OK または ERR
入力2ガンマポジション：ユーザー設定2	G M R B	4	OK または ERR
入力2ガンマポジション：SVMガンマ	G M R B	5	OK または ERR
入力3ガンマポジション：標準	G M V B	0	OK または ERR
入力3ガンマポジション：暗部階調	G M V B	1	OK または ERR
入力3ガンマポジション：D.ガンマ	G M V B	2	OK または ERR
入力3ガンマポジション：ユーザー設定1	G M V B	3	OK または ERR
入力3ガンマポジション：ユーザー設定2	G M V B	4	OK または ERR
入力3ガンマポジション：SVMガンマ	G M V B	5	OK または ERR
入力4ガンマポジション：標準	G M V A	0	OK または ERR
入力4ガンマポジション：暗部階調	G M V A	1	OK または ERR
入力4ガンマポジション：D.ガンマ	G M V A	2	OK または ERR
入力4ガンマポジション：ユーザー設定1	G M V A	3	OK または ERR
入力4ガンマポジション：ユーザー設定2	G M V A	4	OK または ERR
入力4ガンマポジション：SVMガンマ	G M V A	5	OK または ERR
入力5ガンマポジション：標準	G M R C	0	OK または ERR
入力5ガンマポジション：暗部階調	G M R C	1	OK または ERR
入力5ガンマポジション：D.ガンマ	G M R C	2	OK または ERR
入力5ガンマポジション：ユーザー設定1	G M R C	3	OK または ERR
入力5ガンマポジション：ユーザー設定2	G M R C	4	OK または ERR
入力5ガンマポジション：SVMガンマ	G M R C	5	OK または ERR
赤ガンマ (-30 ~ +30)	G M E R	*	OK または ERR
緑ガンマ (-30 ~ +30)	G M E G	*	OK または ERR
青ガンマ (-30 ~ +30)	G M E B	*	OK または ERR
緑ゲイン (-30 ~ +30)	G M G R	*	OK または ERR
緑ゲイン (-30 ~ +30)	G M G G	*	OK または ERR
青ゲイン (-30 ~ +30)	G M G B	*	OK または ERR
赤オフセット (-30 ~ +30)	G M O R	*	OK または ERR
赤オフセット (-30 ~ +30)	G M O G	*	OK または ERR
青オフセット (-30 ~ +30)	G M O B	*	OK または ERR
ガンマリセット	G M R E	1	OK または ERR
入力1CMS：標準	C S R A	0	OK または ERR
入力1CMS：フィルム トーン	C S R A	21	OK または ERR
入力1CMS：ユーザー設定1	C S R A	11	OK または ERR
入力1CMS：ユーザー設定2	C S R A	12	OK または ERR
入力2CMS：標準	C S R B	0	OK または ERR
入力2CMS：フィルム トーン	C S R B	21	OK または ERR
入力2CMS：ユーザー設定1	C S R B	11	OK または ERR
入力2CMS：ユーザー設定2	C S R B	12	OK または ERR
入力3CMS：標準	C S V B	0	OK または ERR
入力3CMS：フィルム トーン	C S V B	21	OK または ERR
入力3CMS：ユーザー設定1	C S V B	11	OK または ERR
入力3CMS：ユーザー設定2	C S V B	12	OK または ERR
入力4CMS：標準	C S V A	0	OK または ERR
入力4CMS：フィルム トーン	C S V A	21	OK または ERR
入力4CMS：ユーザー設定1	C S V A	11	OK または ERR
入力4CMS：ユーザー設定2	C S V A	12	OK または ERR
入力5CMS：標準	C S R C	0	OK または ERR
入力5CMS：フィルム トーン	C S R C	21	OK または ERR
入力5CMS：ユーザー設定1	C S R C	11	OK または ERR
入力5CMS：ユーザー設定2	C S R C	12	OK または ERR
ターゲット：赤	C M T G	1	OK または ERR
ターゲット：黄	C M T G	2	OK または ERR
ターゲット：緑	C M T G	3	OK または ERR
ターゲット：シアン	C M T G	4	OK または ERR
ターゲット：青	C M T G	5	OK または ERR
ターゲット：マゼンタ	C M T G	6	OK または ERR
明度 (-30 ~ +30)	C M S L	*	OK または ERR

制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
彩度 (-30 ~ +30)	C M S C	*	OK または ERR
色相 (-30 ~ +30)	C M S H	*	OK または ERR
リセット (選択色のみ)	C M R E	1	OK または ERR
リセット (全色)	C M R E	2	OK または ERR
クロック (-150 ~ +150)	I N C L	*	OK または ERR
水平位相 (-60 ~ +60)	I N P H	*	OK または ERR
水平位置 (-150 ~ +150)	I A H P	*	OK または ERR
垂直位置 (-60 ~ +60)	I A V P	*	OK または ERR
RGB入力表示	I A R E	0	OK または ERR
RGB調整のリセット	I A R E	1	OK または ERR
メモリー保存 (1 - 7)	M E M S	*	OK または ERR
メモリー選択 (1 - 7)	M E M L	*	OK または ERR
RGB水平周波数の確認	T F R Q	1	kHz (**, * または _)
RGB垂直周波数の確認	T F R Q	2	Hz (**, * または _)
自動同期調整 (標準)	A A D J	1	OK または ERR
自動同期調整 (高速)	A A D J	2	OK または ERR
自動同期調整オフ	A A D J	0	OK または ERR
自動同期調整の表示オン	I M A S	1	OK または ERR
自動同期調整の表示オフ	I M A S	0	OK または ERR
Dシフト (-30 ~ +30)	S T S H	*	OK または ERR
字幕調整 (-30 ~ +30)	S T S Z	*	OK または ERR
パワーセーブ：ON	T H M D	1	OK または ERR
パワーセーブ：OFF	T H M D	0	OK または ERR
LED：オン	L E D S	1	OK または ERR
LED：オフ	L E D S	0	OK または ERR
OSD表示：標準	I M D I	1	OK または ERR
OSD表示：レベルA	I M D I	2	OK または ERR
OSD表示：レベルB	I M D I	0	OK または ERR
入力1入力信号タイプ：RGB入力	I A S I	1	OK または ERR
入力1入力信号タイプ：色差入力	I A S I	2	OK または ERR
入力2入力信号タイプ：RGB入力	I B S I	1	OK または ERR
入力2入力信号タイプ：色差入力	I B S I	2	OK または ERR
映像信号方式の選択：自動	M E S Y	1	OK または ERR
映像信号方式の選択：PAL (50/60Hz)	M E S Y	2	OK または ERR
映像信号方式の選択：SECAM	M E S Y	3	OK または ERR
映像信号方式の選択：NTSC4.43	M E S Y	4	OK または ERR
映像信号方式の選択：NTSC3.58	M E S Y	5	OK または ERR
映像信号方式の選択：PAL_M	M E S Y	6	OK または ERR
映像信号方式の選択：PAL_N	M E S Y	7	OK または ERR
入力5 入力信号タイプ：アナログRGB入力	I C S I	1	OK または ERR
入力5 入力信号タイプ：アナログ色差入力	I C S I	2	OK または ERR
入力5 入力信号タイプ：デジタルコンポーター (RGB) 入力	I C S I	3	OK または ERR
入力5 入力信号タイプ：デジタルコンポーター (色差) 入力	I C S I	4	OK または ERR
入力5 入力信号タイプ：デジタルビデオ (RGB) 入力	I C S I	5	OK または ERR
入力5 入力信号タイプ：デジタルビデオ (色差) 入力	I C S I	6	OK または ERR
無信号時画面の設定：ブルーバック	I M B G	1	OK または ERR
無信号時画面の設定：画面表示無し	I M B G	2	OK または ERR
自動電源オフ：不使用	A P O W	0	OK または ERR
自動電源オフ：使用	A P O W	1	OK または ERR
ランプ使用時間	T L T T	1	0-9999 (整数)
投映方式：フロント	I M P J	0	OK または ERR
投映方式：天井吊り	I M P J	1	OK または ERR
投映方式：リア	I M P J	2	OK または ERR
投映方式：天井吊り+リア	I M P J	3	OK または ERR

メモ

- パラメータの列でアンダーバー (_) のところには、スペースを入力します。アスタリスク (*) のところには、「制御する内容」のカッコ内に示された範囲の値を入力します。
- * 同期調整は表示されたRGBモードでのみ設定できます。
- プロジェクターの電源がスタンバイ状態のときは、「TLTT _ _ _ 1」の戻り値は「0」となります。

ワイヤードリモコン入力端子の仕様

ワイヤードリモコン入力の仕様

- φ3.5ミニジャック
- 外部:GND
- 内部:+3.3 V

ファンクションコードと転送コード

制御項目	システムコード					データコード								外部コード	
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
オン	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
スタンバイ	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0
メニュー	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
▲	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0
▼	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
◀	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
▶	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0
決定	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
戻る	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0
RGB/コンポーネント信号切換	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0

制御項目	システムコード					データコード								外部コード	
	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
画面サイズ	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0
映像ポジション	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0
アイリス	1	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	1	0
自動同期調整	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0
キーストーン補正	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0
入力1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0
入力2	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0
入力3	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
入力4	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0
入力5	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0

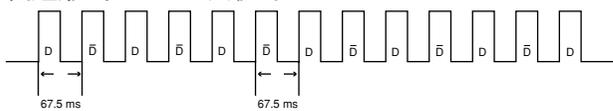
ワイヤードリモコンのファンクションコード

LSB					MSB										
C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	
1	0	1	1	0	*	*	*	*	*	*	*	*	*	1	0

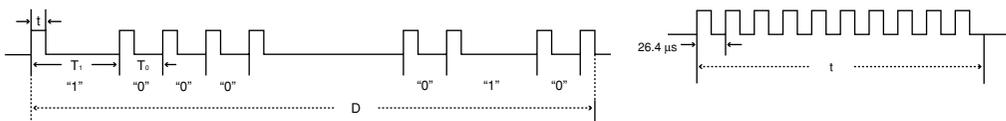
- C1からC5までのシステムコードは「10110」に固定されています。
- C14とC15のコードは逆方向の確認ビットです。「10」が「フロント」を、「01」が「リア」を示します。

シャープ製リモコンのシグナル形式

転送形式: 15ビット形式



出力信号の波形: パルス位置変調を使った出力



- $t = 264 \mu s$
- $T_0 = 1.05 ms$
- $T_1 = 2.10 ms$
- パルス移送周波数 = 37.917 kHz
- 仕事率 = 1:1

転送制御コード

15ビット

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15	
システムアドレス					ファンクションキーデータビット								データ転送	マスク	データ決定
D to \bar{D} コマンドデータビット											\bar{D} の反転				

D to \bar{D} 反転の例

D	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
\bar{D}	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1

RGB入力信号 (推奨信号) について

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
 - 水平周波数：15kHz～81kHz
 - 垂直周波数：43Hz～100Hz
 - ドットクロック：12MHz～120MHz
- シンクオングリーン信号とコンポジットシンク信号に対応。
- 高品位圧縮表示により SXGA に対応。
- AICS リサイズ技術 (高品位圧縮表示／拡大表示) 採用。

下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	ディスプレイ	
PC	640 × 350	27.0	60			拡大表示	
		31.5	70				
		37.9	85	✓			
	720 × 350	27.0	60				
		31.5	70				
		27.0	60		✓		
	640 × 400	31.5	70		✓		
		37.9	85	✓	✓		
		27.0	60		✓		
	720 × 400	31.5	70		✓		
		37.9	85	✓	✓		
		26.2	50		✓		
	640 × 480	31.5	60		✓		
		36.8	70		✓		
		37.9	72	✓	✓		
		37.5	75	✓	✓		
		43.3	85	✓	✓		
		47.9	90		✓		
		53.0	100		✓		
	SVGA	800 × 600	31.4	50			✓
			35.1	56	✓		✓
			37.9	60	✓		✓
			44.5	70			✓
			48.1	72	✓		✓
			46.9	75	✓		✓
			53.7	85	✓		✓
			56.8	90			✓
	64.0	100		✓			
	XGA	1,024 × 768	35.5	43			✓
			40.3	50			✓
48.4			60	✓	✓		
56.5			70	✓	✓		
60.0			75	✓	✓		
68.7			85	✓	✓		
73.5			90		✓		
77.2			96		✓		
80.6			100		✓		

PC/MAC/WS	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	ディスプレイ	
PC	SXGA	1,152 × 864	54.3	60		✓	高品位圧縮表示
			64.0	70		✓	
			64.1	85		✓	
		67.5	60	✓	✓		
		75.7	70		✓		
		54.8	60		✓		
1,152 × 882	65.9	72		✓			
	67.4	74		✓			
1,280 × 1,024	64.0	60	✓	✓			
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67		拡大表示	
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.6	75		拡大表示	
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	48.4	60	✓	高品位圧縮表示	
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.5	75			
PC (WS)	SXGA	1,280 × 960	60.0	60	✓		✓
SXI (WS)			53.5	50			
SUN (WS)			1,152 × 900	60.9	66		
	71.9	76					

DTV

入力信号	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	DVIサポート信号
525I	15.8	60	
525P	31.5	60	✓
576I	15.6	50	
576P	31.3	50	✓
750P	45.0	60	✓
750P	37.5	50	✓
1125I	33.8	60	✓
1125I	28.1	50	✓



- 本機は、同時 (CRT/LCD) モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして "CRTのみ" モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。
- 本機は640×350 VESA 形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
- インターレース映像信号の動画を本機で投影するとき、RGB入力を使用すると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、コンポーネント入力、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像が出ない、またはプロジェクターが起動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	16
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	—
	●表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	35
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	17～26
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	13
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	—
	●ランプ交換ユニットのカバーは正しく取り付けられていますか。	81
	●入力信号タイプが正しく設定されていますか。	69
	●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	70
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整の「明るさ」が「-（マイナス）」側いっぱいになっていませんか。	47
	●映像調整は、正しく調整されていますか。	47
	<ビデオ入力するとき> ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 <入力1/2/5のとき> ●入力信号タイプは正しく設定されていますか。	70 69
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカスは合っていますか。	28
	●投射距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	30～31
	<コンピュータ入力するとき> ●同期調整(クロック調整)を行ってください。 ●同期調整(水平位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	57 57 —
	●デジタルノイズリダクション（DNR）の設定は適切ですか？	50
	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	—
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	79
お知らせランプが点灯する	●「LED」の設定が「OFF（消灯）」になっていませんか。	67
投映中に電源表示やランプ表示が点灯しない		

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1または2のコンポーネント(色差)入力で画面が緑がかる	●入力信号タイプが正しく設定されていますか。	69
入力1または2のRGB入力で画面がピンクがかる		
映像が暗い	●ランプ表示が赤色点滅していませんか。 赤色点滅しているときは、ランプ交換してください。	79
映像が明るすぎて白っぽくなる	●映像調整は、正しく調整されていますか。	47
電源スタンバイ時にコンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御しようとする、レスポンスコードが受信されない	●電源スタンバイ時にRS-232Cコマンドを送信した場合は、コンピュータがレスポンスコードを受信するのに最大30秒かかります。コンピュータのレスポンスコードの待ち時間を30秒以上に設定してください。	84

アフターサービスについて

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間**
 - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(92ページ)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(89ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	：シアタープロジェクター
形名	：XV-Z11000
お買いあげ日	：(年月日)
故障の状況	：(できるだけ具体的に)
ご住所	：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前	：
電話番号	：
ご訪問希望日	：

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ

お客様へ...
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話() —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源を入れても映像が出ない、また出るまでに時間がかかる。
- 画面が映ったり、消えたりする。
- 映像が乱れたり、色がきれいに出不ない。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

- 修理相談センター(沖縄・奄美地区を除く)

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話/PHSでのご利用は	一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にて承っております。

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分(祝日など弊社休日を除く)

(但し、沖縄・奄美地区)は.....*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分(祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水島坂1170番1
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。(03.09)

仕様

品名	シアタープロジェクター	
形名	XV-Z11000	
表示方式	単板DMD™、カラーホイール色分離方式	
パネルサイズ	0.8型	
画素数	921,600 (横1,280×縦720) ドット	
レンズ	1~1.35倍手動ズームレンズ F2.5~8 f 32.5mm~44.0mm	
ランプ	270W SHP	
定格電圧	AC100V~240V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	3.7A (AC 100V時)	
消費電力	365W (使用時) / 0.1W (電源スタンバイ時)	
使用温度範囲	+5℃~+35℃	
保管温度範囲	-20℃~+60℃	
ビデオ入力対応	BSデジタルハイビジョン放送対応 (525I/525P/750P/1125I) NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM	
コンピュータ対応	解像度	VGA/SVGA/XGA/SXGA
接続端子	コンポーネント/RGB入力端子	2系統 (RCA×5)
	ビデオ入力端子	2系統 (S端子×1、RCA×1)
	DVI端子	デジタル/アナログ/コンポーネント共用 1系統 (DVI端子29ピン)
	その他の端子	RS-232C端子
キャビネット	プラスチック	
外形寸法	幅 475mm、奥行406mm、高さ 178mm (突起部除く)	
質量	9.4kg	
<付属品>	<ul style="list-style-type: none"> •リモコン •単3形乾電池×2本 •電源コード •レンズキャップ (装着出荷) •CD-ROM (SharpVision Manager) •端子部カバー •取扱説明書 (本書) •SharpVision Manager取扱説明書 •保証書 •使用許諾契約書 	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

お願い

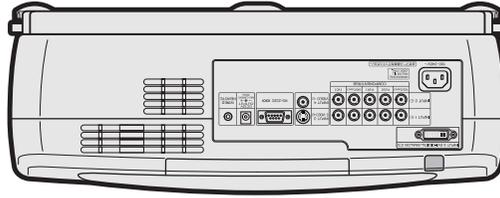
- DMD™素子は非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

寸法図

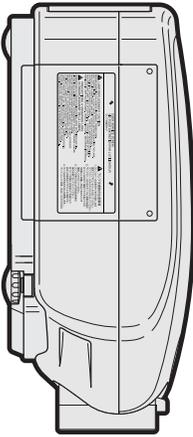
本体

単位:mm

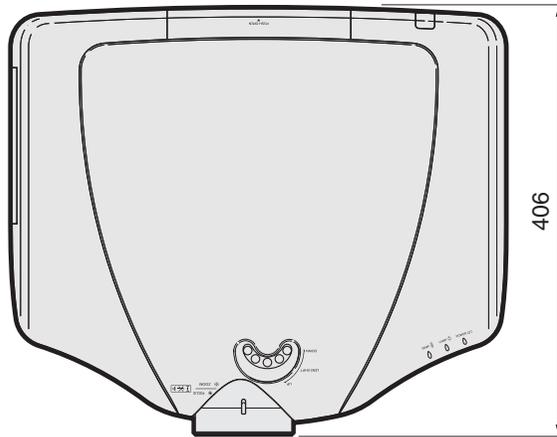
背面



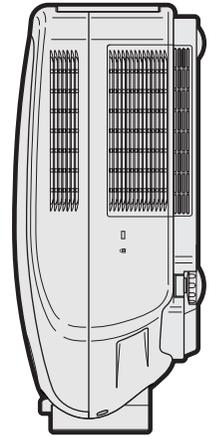
左側面



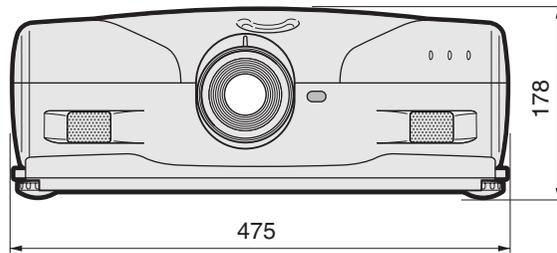
上面



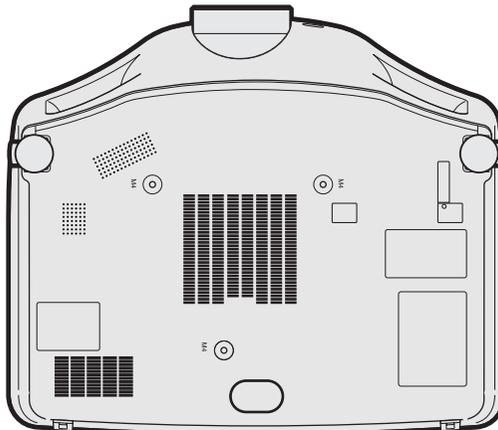
右側面



前面

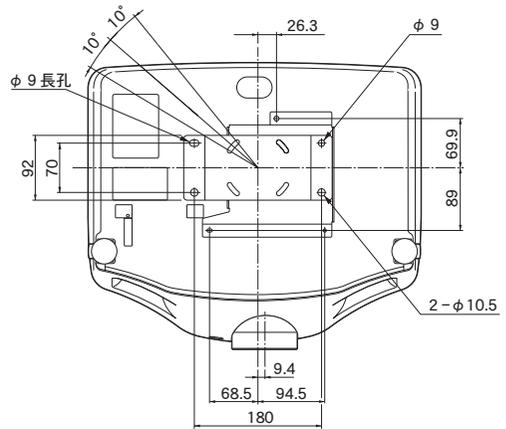
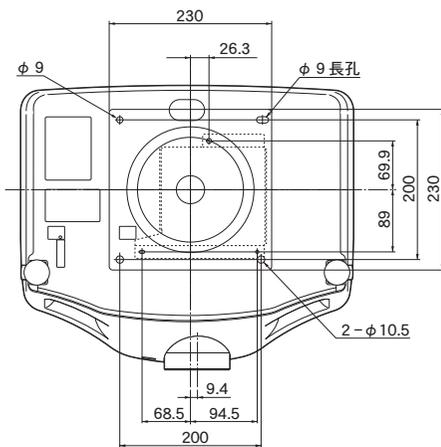
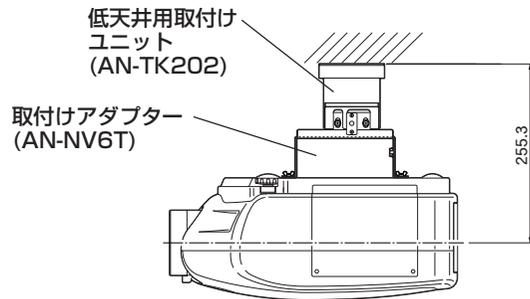
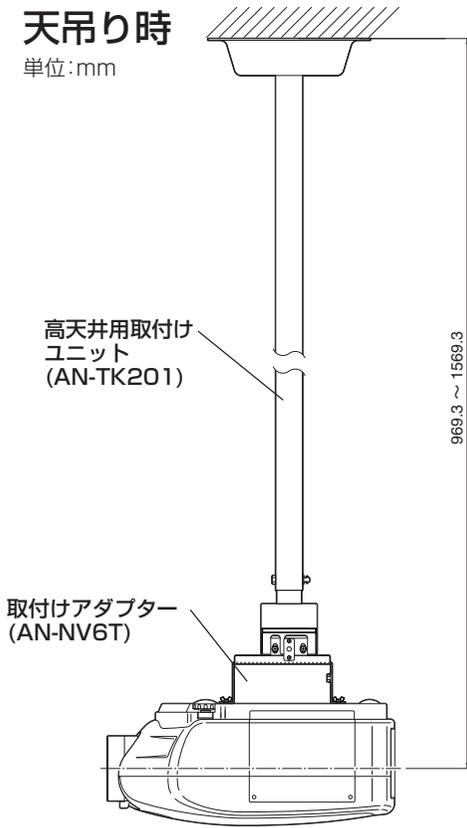


裏面



天吊り時

単位:mm



C.M.S.(カラーマネージメント)機能

赤、黄、緑、シアン、青、マゼンタの6色の特性を個別に調整できる機能です。

Dシフト

ビデオ信号やハイビジョン信号入力時に画像表示モードをワイドまたはズームに設定しているときに、画像を上下に移動することができます。

IPモード

プログレッシブ変換のモードを選択できます。「2D プログレッシブ」、「3D プログレッシブ」、「フィルム」から選択できます。

色温度

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げ、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

画像表示モード

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」、「ワイド」、「ズーム」、「スクイーズ(フル)」、「ドットバイドット」から選択できます。

ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合、映像の暗い部分をより明るくして映像を見やすくする機能です。

キーストーン補正

プロジェクターの映像を投射したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

クロック調整

コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最良な状態で投射する機能です。

スクイーズ(フル)

4:3の画面を均一に左右に引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。

縦横比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

ドットバイドット

映像を元の解像度で投射するモードです。

標準

4:3の映像を4:3のアスペクト比を保ったまま、16:9スクリーンの内側いっぱいに投射するモードです。

無信号時画面

信号が入力されていないときに投射される初期設定映像です。

ワイド

4:3の映像を投射するとき、映像の中心部付近の縦横比を維持しながら、周辺部分だけを引き伸ばして、16:9スクリーンいっぱいに投射するモードです。

索引

記号英数

2D プログレッシブ	49
3D プログレッシブ	49
AC電源ソケット	16
AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン	59
C.M.S.(カラーマネージメント)機能	54
C.M.S.ポジション	48、54
CD-ROM	76
DFC	51
DNR	50
Dシフト(デジタルシフト)	66
ENTER(決定)ボタン	43
INPUT(入力)1端子	18
INPUT(入力)2端子	18
INPUT(入力)3端子	17
INPUT(入力)4端子	17
INPUT(入力)5端子	19
INPUT(入力切替)ボタン	35
IPモード	49
IRIS(アイリス)ボタン	65
KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン	37
MENU(メニュー)ボタン	42
LIGHT(バックライト)ボタン	12
ON(電源入)ボタン	34
OSD表示	68
PDF	76
PICTURE POSITION(映像ポジション)ボタン	46
RESIZE(画像サイズ)ボタン	62
RGB/COMP.(RGB/コンポーネント信号切替)ボタン ..	69
RS-232C端子	25
SharpVision Manager	76
STANDBY(スタンバイ)ボタン	36
UNDO(戻す)ボタン	43

ア行

アジャスター	27
一覧表示	74
色温度	47
映像左右反転/上下反転機能	73
映像信号方式	70
映像調整	46
温度モニター表示	79

カ行

カーソルボタン(▼▲◀▶)	43
乾電池	13
ガンマ補正	47、52
キーストーン補正	37
クロック	57
コンピュータ画面の調整	57

サ行

彩度	55
色相	55
自動電源オフ	72
自動同期調整	59
自動同期調整画面	60
ズーム	63
ズームレバー	28
水平位相	57
スクイーズ(フル)	63

タ行

ターゲット	54
通風孔	78
電源コード	16
電源表示	34
天井取り付け	32
投映方式	73
同期調整	57
盗難防止用コネクター	11
特殊モード	58
ドットバイドット	63

ナ行

入力1~5モード	35
入力信号確認	59
入力信号タイプ	69

ハ行

標準	63
フィルム	49
フォーカスリング	28
付属品	14
別売品	14

マ行

明度	55
無信号時画面	70
メモリー選択	58
メモリー保存	57

ラ行

ランプ	80
ランプ交換	80
ランプ表示	79
リモコン	12
リモコン受信部	13
レンズキャップ	10
レンズシフトダイヤル	29
レンズ調整	28

ワ行

ワイド	63
ワイヤードリモコン端子	26
ワイヤードリモコン入力端子	26

● 製品についてのお問い合わせは・・・

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・・

92ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率 100%）



アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

TINS-A971WJZZ

03P10-JWM